

結婚・子育て世代に関するアンケート調査
報告書

平成27年8月

砺波市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査目的.....	1
2	調査項目.....	1
3	調査対象.....	1
4	調査期間.....	1
5	調査方法.....	1
6	回収結果.....	1
7	報告書のみかた.....	1
II	調査回答者の属性.....	3
III	調査結果の概要.....	5
1	若者が市外へ流出する理由.....	5
2	砺波市での定住意向.....	6
3	未婚者の状況.....	10
4	既婚者の状況.....	15
5	勤務状況.....	20
6	今後のまちづくりに対する意見.....	24
	使用した調査票.....	35

I 調査の概要

調査の概要

1 調査目的

市在住の若者の意識や今後のまちづくりの意見や要望を調査することにより、総合計画の見直しに向けた基礎資料とすることを目的とする。

2 調査項目

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 若者が流出する理由 | (2) 今後の砺波市での居住意向 |
| (3) 未婚者の状況 | (4) 既婚者の状況 |
| (5) 勤務状況 | (6) 市への意見や要望 |

3 調査対象

- | | |
|----------|---------------------------------|
| (1) 調査対象 | 砺波市在住の結婚・子育て世代（概ね 20 歳～40 歳）の男女 |
| (2) 標本数 | 1,000 人 |
| (3) 抽出方法 | 住民基本台帳より無作為抽出 |

4 調査期間

平成 27 年 6 月 23 日～7 月 6 日

5 調査方法

郵送による配布を行い、回収方法は郵送によるものとインターネットによる回答を併用

6 回収結果

標本数	(A)	1,000
有効回収数	(B)	357
回収率	(B/A)	35.7%

7 報告書のみかた

- (1) 調査結果は百分率で表示しています。百分率は小数点以下第 2 位を四捨五入して算出していることから、合計値が 100%にならない場合があります。
- (2) 1 つの質問に対して 2 つ以上の回答を求めているものについて、百分率は回答数を本調査の総回答数で割った数値を表しています。
- (3) 図表中に [N] と記してあるのは、分類別各層の対象者総数を表しています。

Ⅱ 調査回答者の属性

調査回答者の属性

1 性別・年齢

	19歳以下	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳以上	計
男性	2 1.2	24 14.2	27 16.0	46 27.2	61 36.1	9 5.3	169 100.0
女性	3 1.6	24 12.8	44 23.4	45 23.9	68 36.2	4 2.1	188 100.0
計	5 1.4	48 13.4	71 19.9	91 25.5	129 36.1	13 3.6	357 100.0

2 職業

	件数	%
学生	19	5.3
正規社員・職員	236	66.1
契約社員、派遣社員	11	3.1
自営業	15	4.2
パートタイマー・アルバイト	40	11.2
その他	5	1.4
無職	30	8.4
無回答	1	0.3
計	357	100

3 結婚

		未婚	既婚	離別・死別	計
男性	19歳以下	2 100.0	-	-	2 100.0
	20歳～24歳	23 95.8	1 4.2	-	24 100.0
	25歳～29歳	22 81.5	5 18.5	-	27 100.0
	30歳～34歳	14 30.4	31 67.4	1 2.2	46 100.0
	35歳～39歳	16 26.2	44 72.1	1 1.6	61 100.0
	40歳以上	3 33.3	6 66.7	-	9 100.0
	計	80 47.3	87 51.5	2 1.2	169 100.0
	女性	19歳以下	3 100.0	-	-
20歳～24歳		24 100.0	-	-	24 100.0
25歳～29歳		21 47.7	23 52.3	-	44 100.0
30歳～34歳		7 15.6	38 84.4	-	45 100.0
35歳～39歳		16 23.5	48 70.6	4 5.9	68 100.0
40歳以上		-	4 100.0	-	4 100.0
計		71 37.8	113 60.1	4 2.1	188 100.0
全体	151 42.3	200 56.0	6 1.7	357 100.0	

4 住まい

	件数	%
持ち家(親等の所有する家を含む)	279	78.2
借家(アパート・マンション)	61	17.1
借家(戸建て)	3	0.8
社宅	10	2.8
市営住宅・公営住宅	1	0.3
その他	2	0.6
無回答	1	0.3
計	357	100

5 同居状況

	件数	%
一人暮らし	21	5.9
夫婦のみ	32	9.0
親と子[2世代]	186	52.1
親と子と孫[3世代]	98	27.5
その他	17	4.8
無回答	3	0.8
計	357	100

Ⅲ 調査結果の概要

調査結果の概要

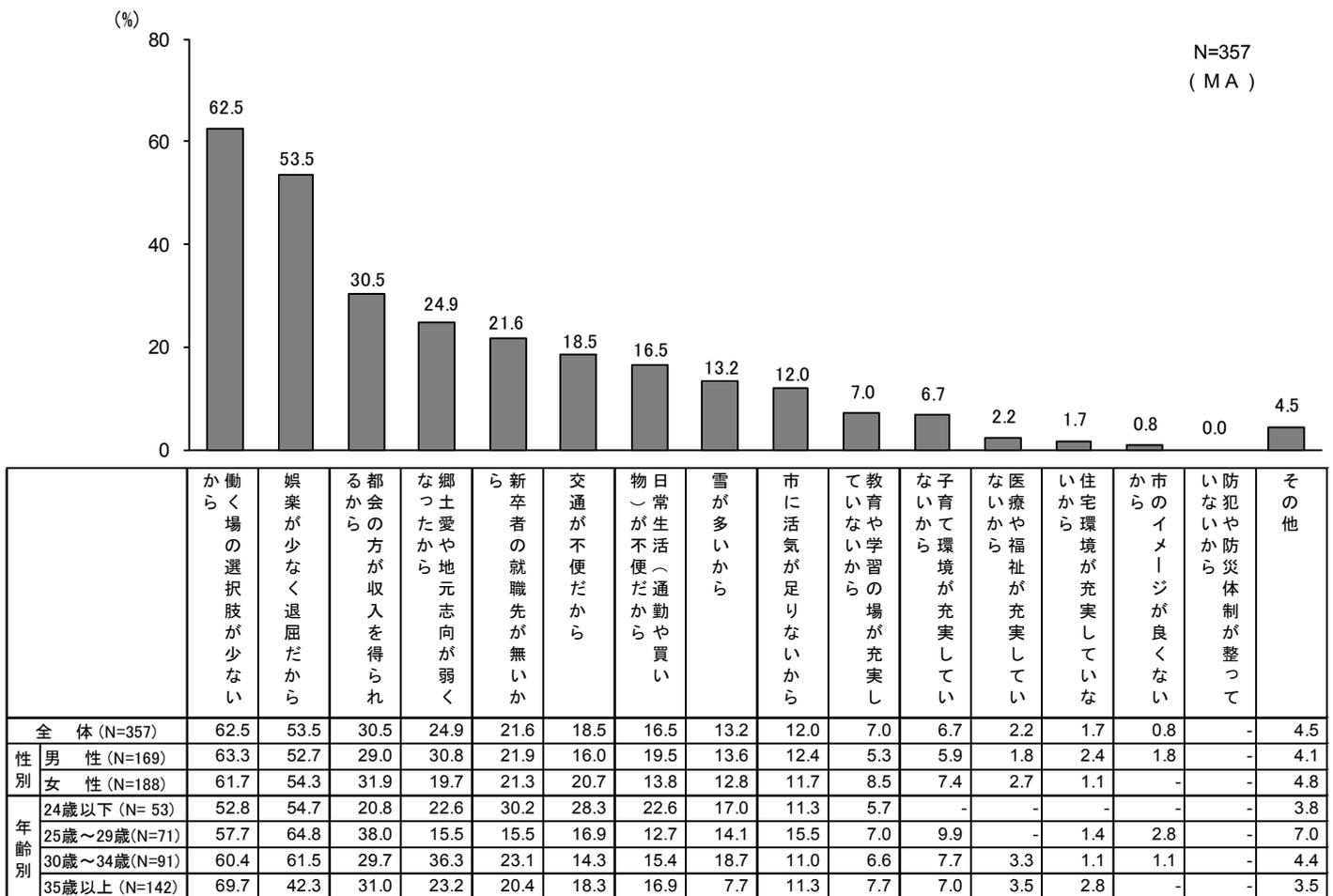
1 若者が市外へ流出する理由

若者が砺波市から出ていく理由についてきいたところ、「働く場の選択肢が少ないから」が62.5%と最も多く、次いで「娯楽が少なく退屈だから」が53.5%、「都会の方が収入が得られるから」が30.5%、「郷土愛や地元志向が弱くなったから」が24.9%の順となっている

男女別にみると、男性は「郷土愛や地元志向が弱くなったから」が30.8%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、年代が高いほど、「働く場の選択肢が少ないから」が多くなっている。また、「25～34歳」で「娯楽が少なく退屈だから」が6割超と多い。

図表1 若者が市外へ流出する理由<複数回答>



2 砺波市での定住意向

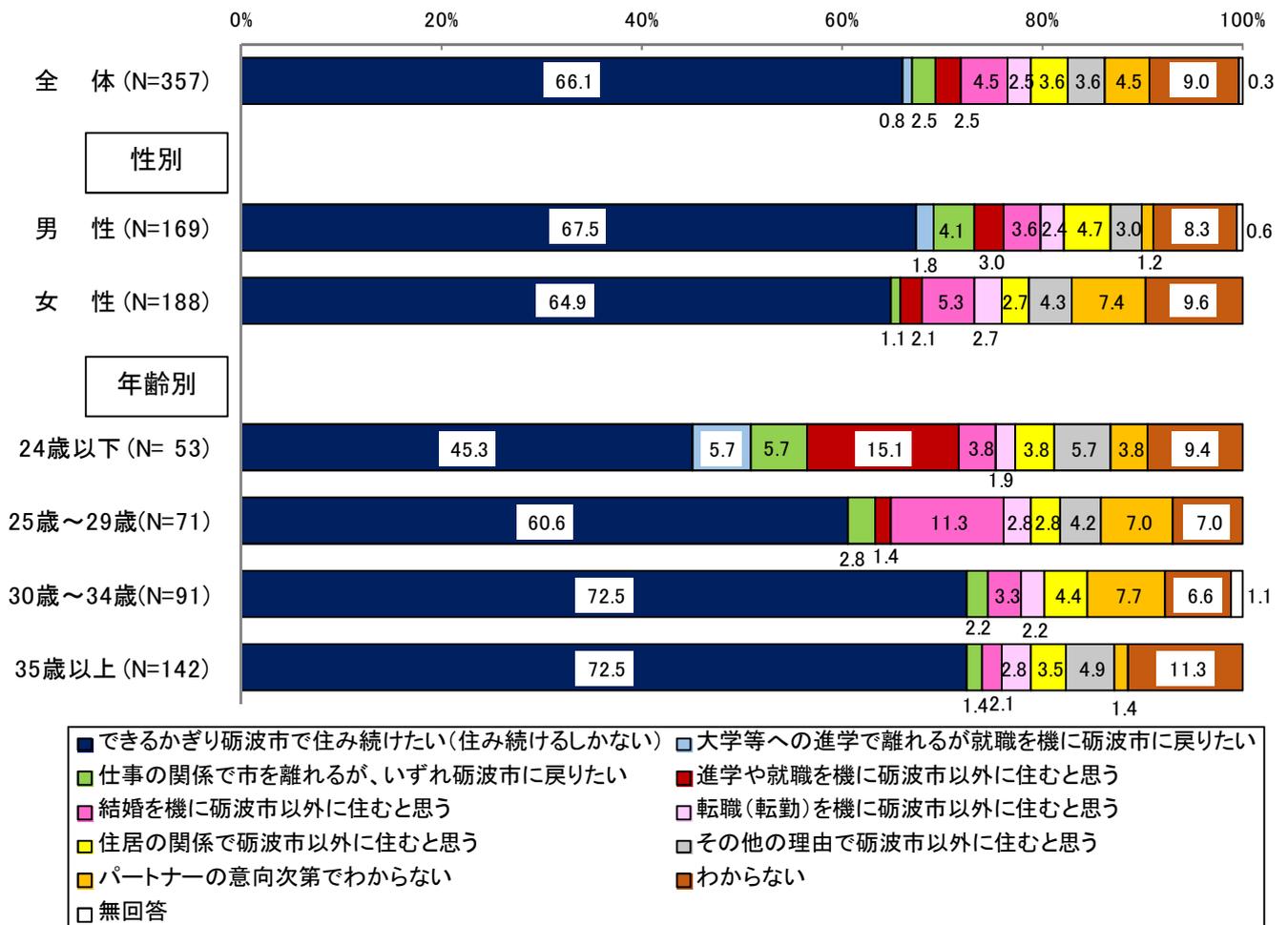
(1) 市での定住意向

砺波市に住み続けたいかきいたところ、「できるかぎり砺波市で住み続けたい（住み続けるしかない）」が66.1%、「大学等への進学で離れるが就職を機に砺波市に戻りたい」が0.8%、「仕事の関係で市を離れるが、いずれ砺波市に戻りたい」が2.5%であり、約7割が砺波市に住みたいとしている。一方、「進学や就職を機に砺波市以外に住むと思う」が2.5%、「結婚を機に砺波市以外に住むと思う」が4.5%、「転職（転勤）を機に砺波市以外に住むと思う」が2.5%、「住居の関係で砺波市以外に住むと思う」が3.6%、「その他の理由で砺波市以外に住むと思う」が3.6%と、合わせて16.7%が市外に住みたいとしている。

男女別にみると、男女とも「できるかぎり砺波市で住み続けたい（住み続けるしかない）」が6割を超えている。

年代別にみると、「24歳以下」で「できるかぎり砺波市で住み続けたい（住み続けるしかない）」が45.3%と他の年代と比べて少なくなっている。

図表 2-1 市での定住意向＜単数回答＞



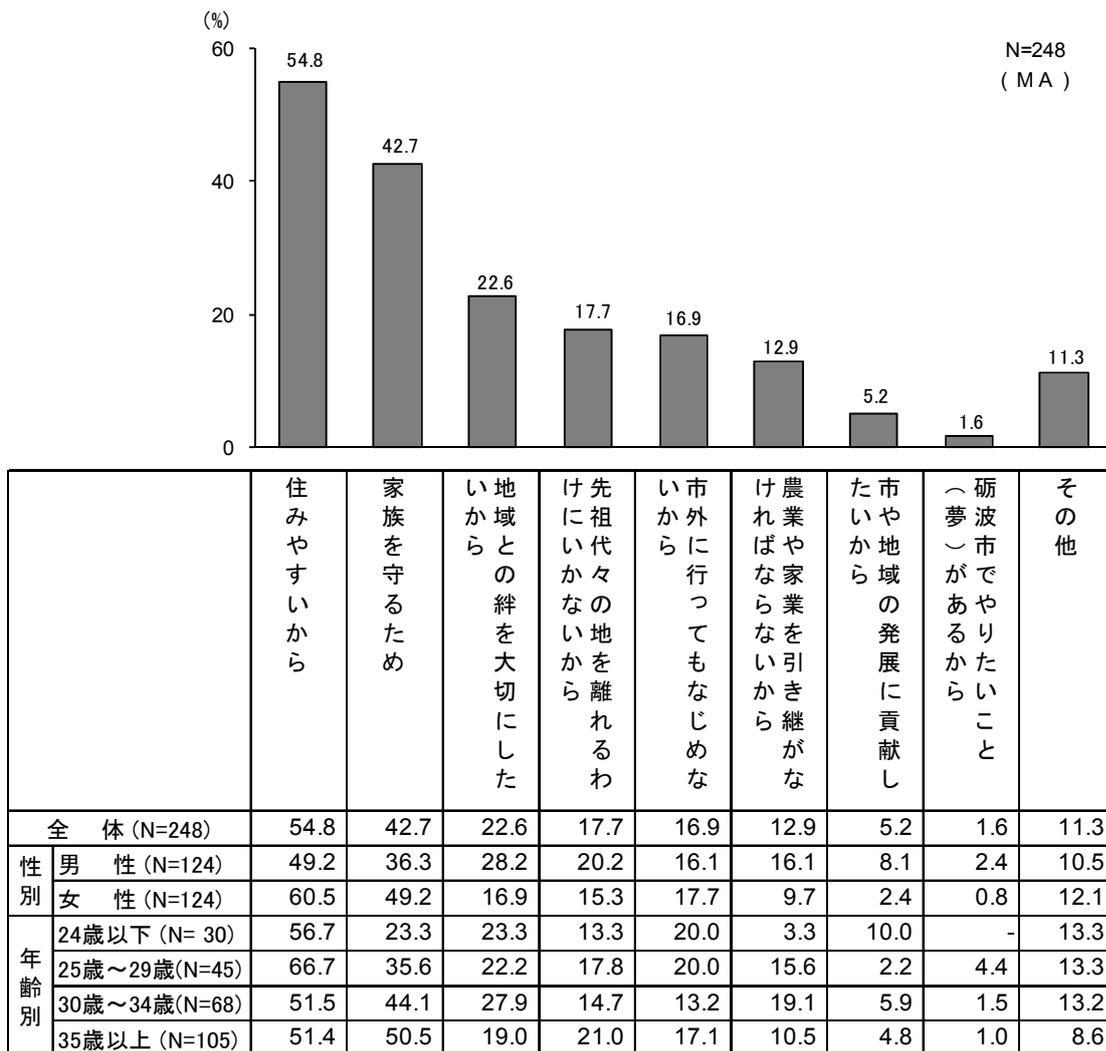
(2) 砺波市に住みたい理由

砺波市に住みたいとした 248 人にその理由をきいたところ、「住みやすいから」が 54.8%と最も多く、次いで「家族を守るため」が 42.7%、「地域との絆を大切にしたいから」が 22.6%の順となっている。

男女別にみると、男性は「地域との絆を大切にしたいから」が女性に比べて多く、女性は「住みやすいから」、「家族を守るため」が男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、年代が高いほど「家族を守るため」が多くなっている。

図表 2-2 砺波市に住みたい理由<複数回答>



	住みやすいから	家族を守るため	地域との絆を大切にしたいから	先に祖代かなの地を離れるわ	市外に行ってもなじめな	農業や家業を引き継がな	市や地域の発展に貢献し	砺波市でやりたいこと	その他
全体 (N=248)	54.8	42.7	22.6	17.7	16.9	12.9	5.2	1.6	11.3
性別	男性 (N=124)	49.2	36.3	28.2	20.2	16.1	8.1	2.4	10.5
	女性 (N=124)	60.5	49.2	16.9	15.3	17.7	2.4	0.8	12.1
年齢別	24歳以下 (N=30)	56.7	23.3	23.3	13.3	20.0	3.3	-	13.3
	25歳～29歳 (N=45)	66.7	35.6	22.2	17.8	20.0	15.6	4.4	13.3
	30歳～34歳 (N=68)	51.5	44.1	27.9	14.7	13.2	19.1	1.5	13.2
	35歳以上 (N=105)	51.4	50.5	19.0	21.0	17.1	10.5	4.8	8.6

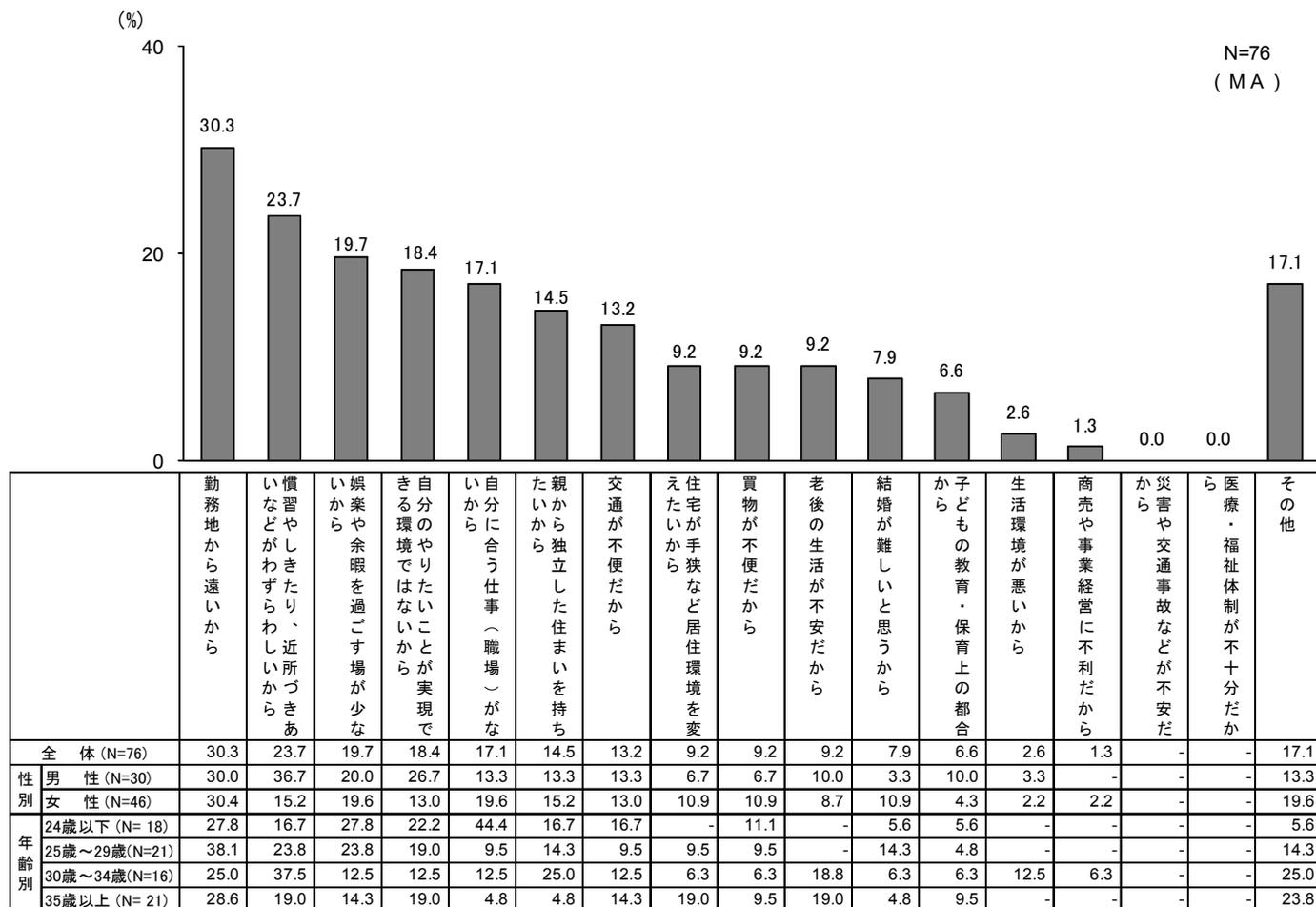
(3) 砺波市外に住みたい理由

砺波市外に住みたいとした76人にその理由をきいたところ、「勤務地から遠いから」が30.3%と最も多く、次いで「慣習やしきたり、近所づきあいなどがわずらわしいから」が23.7%、「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから」が19.7%の順となっている。

男女別にみると、男性は「慣習やしきたり、近所づきあいなどがわずらわしいから」、「自分のやりたいことが実現できる環境ではないから」が女性に比べて多く、女性は「自分に合う仕事（職場）がないから」、「結婚が難しいと思うから」が男性と比べて多くなっている。

年代別にみると、「19歳以下」は「自分に合う仕事（職場）がないから」、「25歳～29歳」と「35歳以上」は「勤務地から遠いから」、「30歳～34歳」は「慣習やしきたり、近所づきあいなどがわずらわしいから」がそれぞれ最も多くなっている。

図表 2-3 砺波市外に住みたい理由<複数回答>



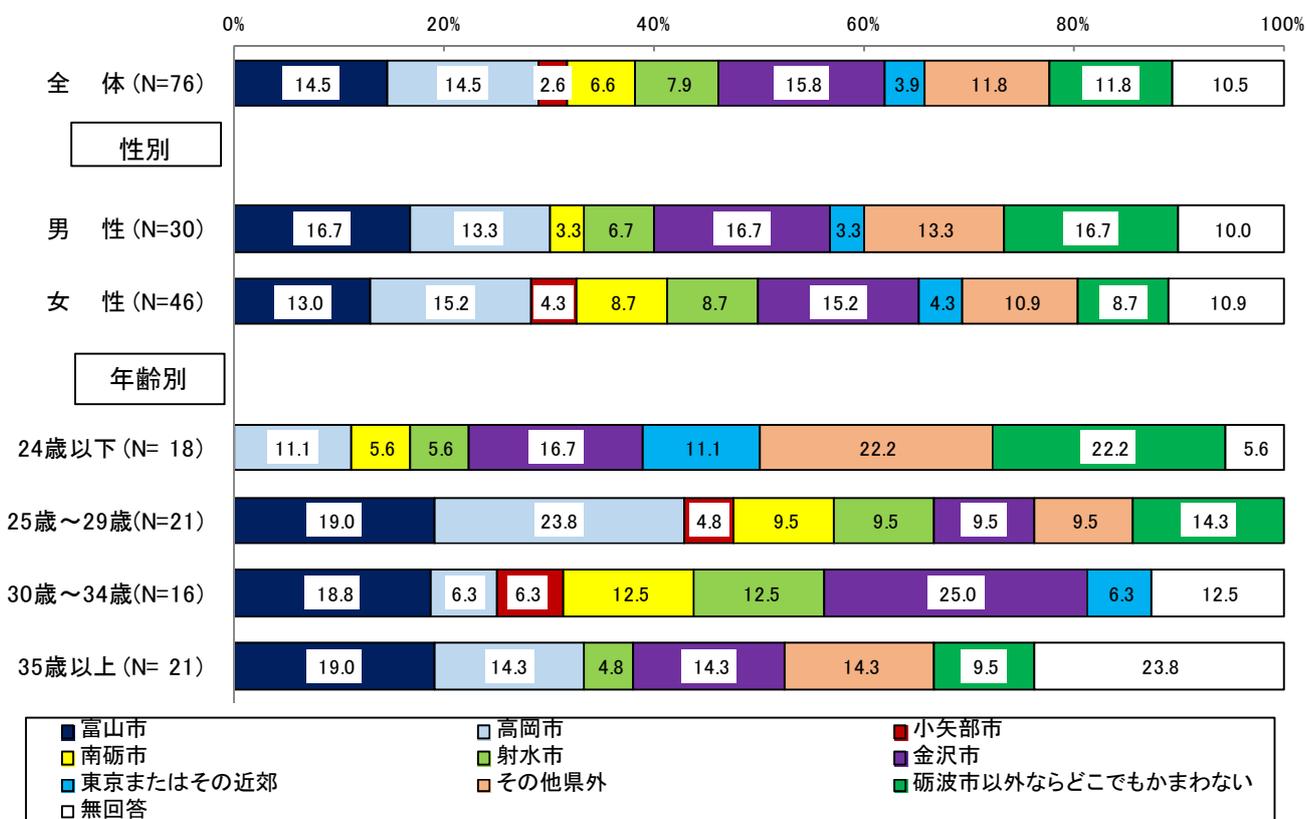
(4) 居住を希望する地域

市以外で住みたい地域については、「富山市」と「高岡市」が14.5%、「小矢部市」が2.6%、「南砺市」が6.6%、「射水市」が7.9%と、県内に移りたいとする人が46.1%となっている。その他、「金沢市」が15.8%、「東京およびその近郊」が3.9%、「その他県外」と「砺波市以外ならどこでもかまわない」が11.8%となっている。

男女別にみると、男性は「砺波市以外ならどこでもかまわない」が16.7%と女性に比べて多く、女性は「南砺市」が8.7%と男性に比べて多い。

年代別にみると、「24歳以下」は「砺波市以外ならどこでもかまわない」が22.2%と他の年代に比べて多く、「富山市」と回答した人はいなかった。

図表 2-4 居住を希望する地域<単数回答>



※富山市～射水市以外の県内と回答した人はいなかった。

3 未婚者の状況

(1) 結婚の意向

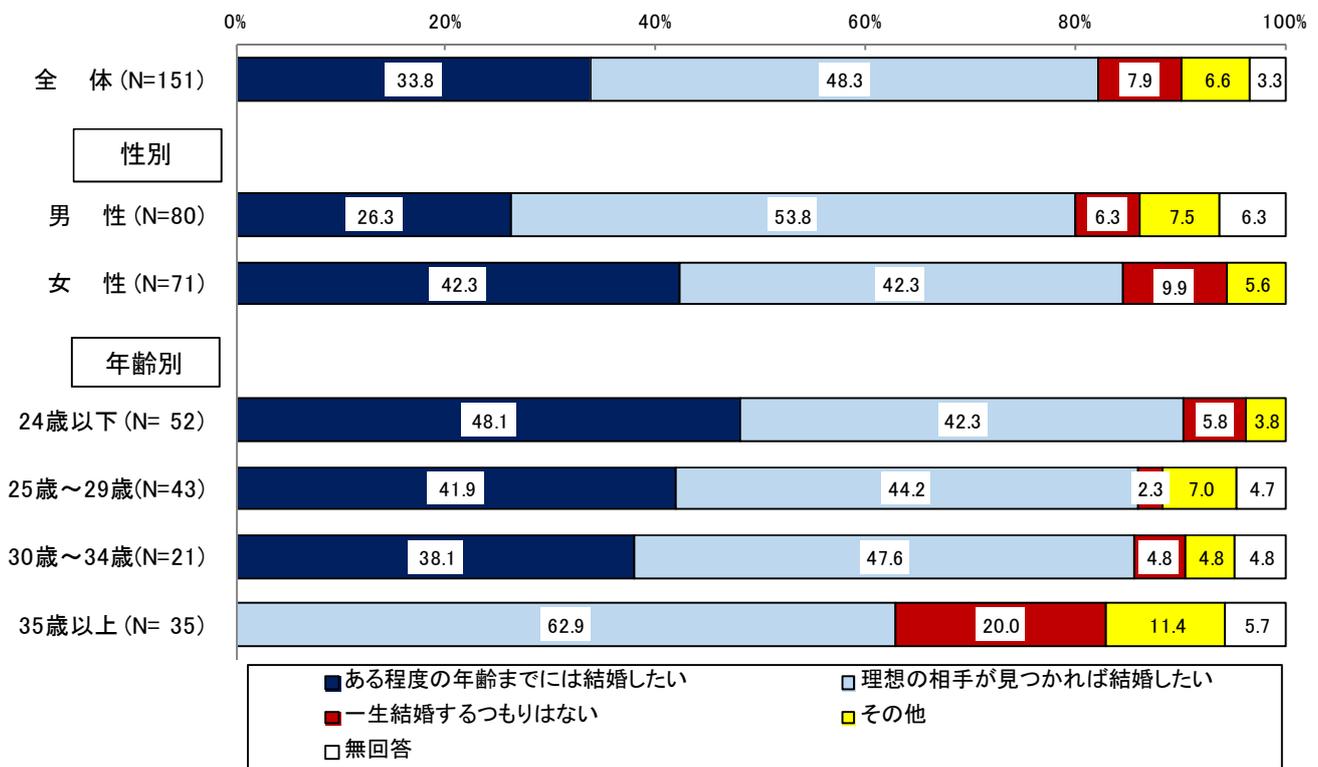
未婚者 151 人に結婚の意向をきいたところ、「ある程度の年齢までには結婚したい」が 33.8%、「理想の相手が見つければ結婚したい」が 48.3%、「一生結婚するつもりはない」が 7.9%などとなり、約 8 割が結婚したいという意向をもっている。

男女別にみると、女性は「ある程度の年齢までには結婚したい」が 42.3%と男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「34 歳以下」は 85%以上の方が結婚の意向を持っているが、「35 歳以上」で 62.9%にとどまっており、「一生結婚するつもりはない」が 20.0%と他の年代と比べて多くなっている。

また、「ある程度の年齢までには結婚したい」とした 51 人に、その年齢をきいたところ、「24 歳まで」が 2.0%、「25 歳～29 歳まで」が 52.9%、「30 歳～34 歳まで」が 39.2%、「35 歳以降」が 3.9%となっている。

図表 3-1 (1) 結婚の意向<単数回答>



図表 3-1 (2) 結婚したい年齢<単数回答>

		24歳まで	25歳～29歳まで	30歳～34歳まで	35歳以降	無回答
全	体 (N=51)	2.0	52.9	39.2	3.9	2.0
性別	男性 (N=21)	-	33.3	61.9	-	4.8
	女性 (N=30)	3.3	66.7	23.3	6.7	-
年齢別	24歳以下 (N= 25)	4.0	80.0	16.0	-	-
	25歳～29歳(N=18)	-	33.3	66.7	-	-
	30歳～34歳(N=8)	-	-	62.5	25.0	12.5
	35歳以上 (-)	-	-	-	-	-

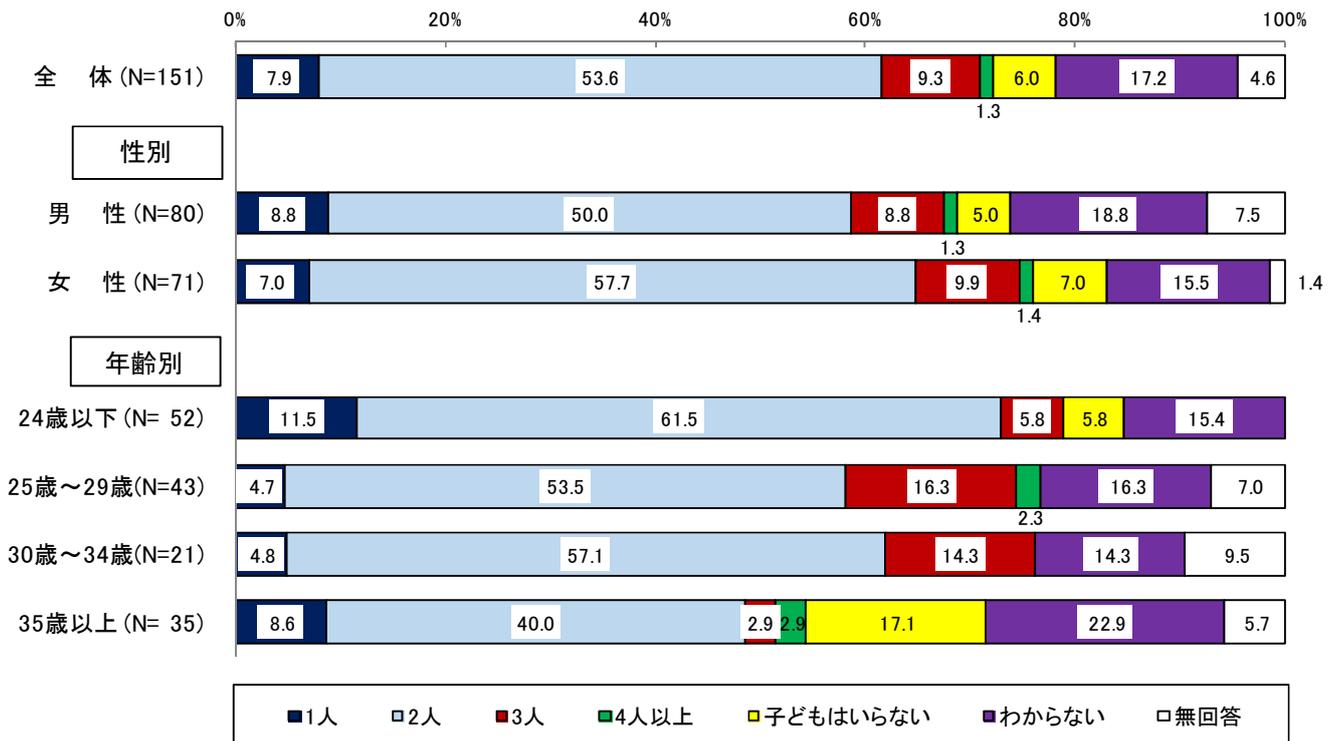
(2) ほしい子どもの数

結婚したいと回答した273人にほしい子どもの数をきいたところ、「1人」が7.9%、「2人」が53.6%、「3人」が9.3%、「4人以上」が1.3%、「子どもはいらない」が6.0%などとなっている。

男女別にみると、女性は「2人」が57.7%と男性に比べてやや多くなっている。

年代別にみると、「35歳以上」で「子どもはいらない」とする人が17.1%と多くなっている。

図表 3-2 ほしい子どもの数<単数回答>



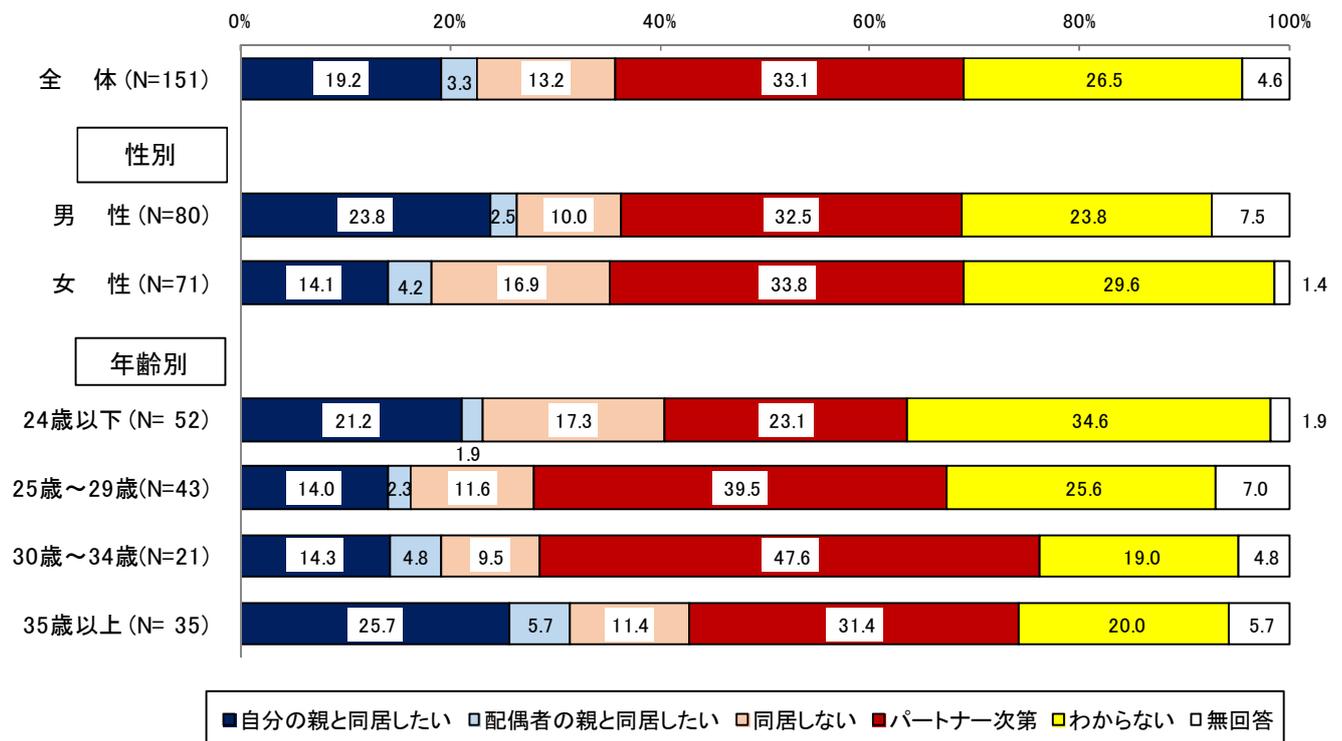
(3) 親との同居に対する考え

前問に引き続き、将来結婚したら親と同居したいかきいたところ、「自分の親と同居したい」が19.2%、「配偶者の親と同居したい」が3.3%、「同居しない」が13.2%、「パートナー次第」が33.1%、「わからない」が26.5%となっており、親との同居を希望する人は約2割にとどまっている。

男女別にみると、男性は「自分の親と同居したい」が23.8%と女性と比べて多くなっている。

年代別にみると、「30歳～34歳」で「パートナー次第」が47.6%、「35歳以上」で「自分の親と同居したい」が25.7%と他の年代と比べて多くなっている。

図表 3-3 親との同居に対する考え<単数回答>



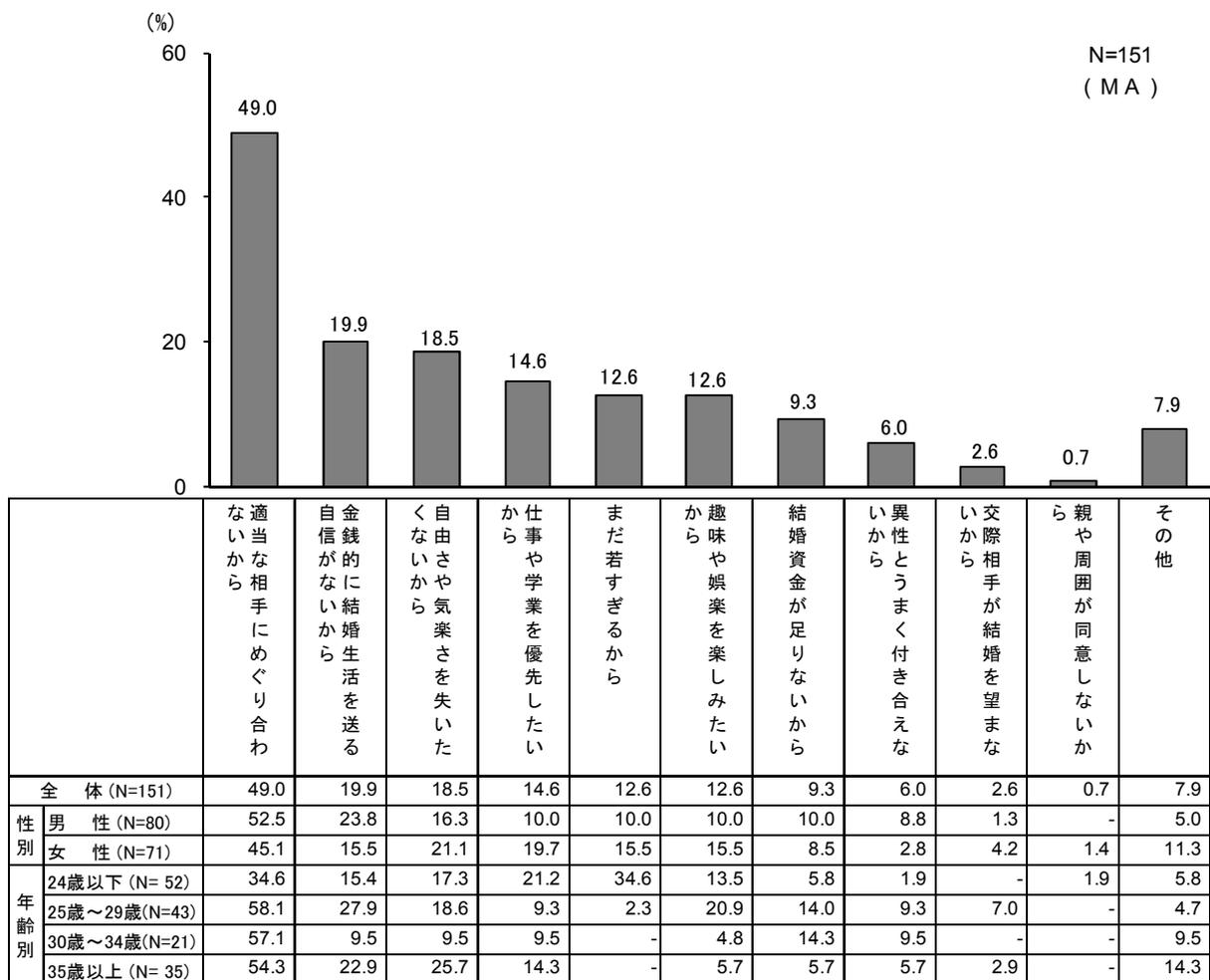
(4) 結婚していない理由

未婚者に結婚していない理由をきいたところ、「適当な相手にめぐり合わないから」が49.0%と最も多く、次いで「金銭的に結婚生活を送る自信がないから」が19.9%、「自由さや気楽さを失いたくないから」が18.5%の順となっている。

男女別にみると、男性は「適当な相手にめぐり合わないから」、「金銭的に結婚生活を送る自信がないから」が女性に比べて多く、女性は「仕事や学業を優先したいから」が男性と比べて多くなっている。

年代別にみると、「24歳以下」は「まだ若すぎるから」、「25～29歳」は「金銭的に結婚生活を送る自信がないから」、「35歳以上」は「自由さや気楽さを失いたくないから」が他の年代と比べて多くなっている。

図表 3-4 結婚していない理由<複数回答>



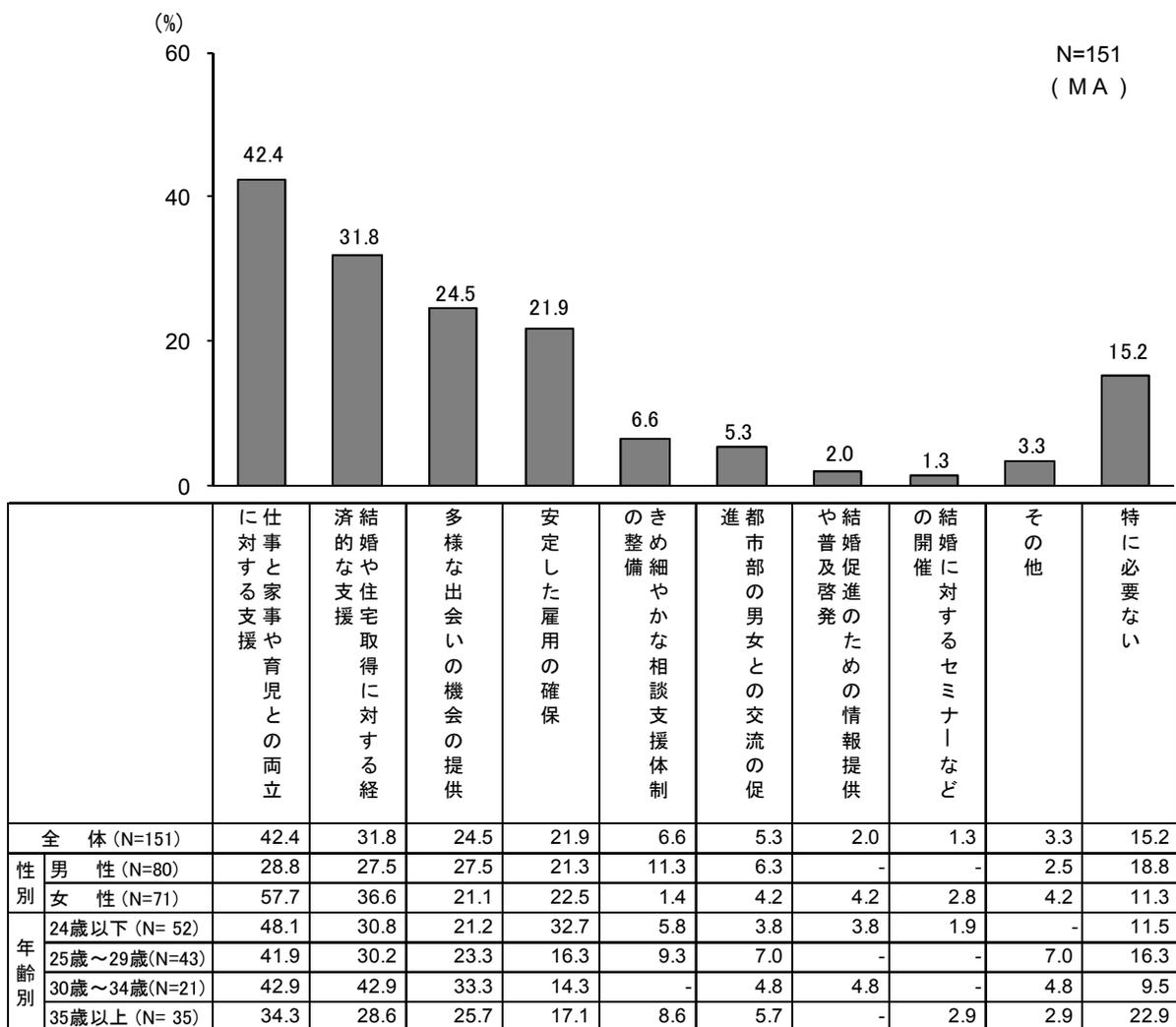
(5) 結婚を促進するため必要な支援

結婚を促進するために市に望む支援をきいたところ、「仕事と家事や育児との両立に対する支援」が42.4%と最も多く、次いで「結婚や住宅取得に対する経済的な支援」が31.8%、「多様な出会いの機会の提供」が24.5%、「安定した雇用の確保」が21.9%の順となっている。

男女別にみると、女性は「仕事と家事や育児との両立に対する支援」が57.7%と、男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「24歳以下」は「安定した雇用の確保」、「30歳～34歳」は「結婚や住宅取得に対する経済的な支援」が他の年代と比べて多くなっている。

図表 3-5 砺波市外に住みたい理由<複数回答>



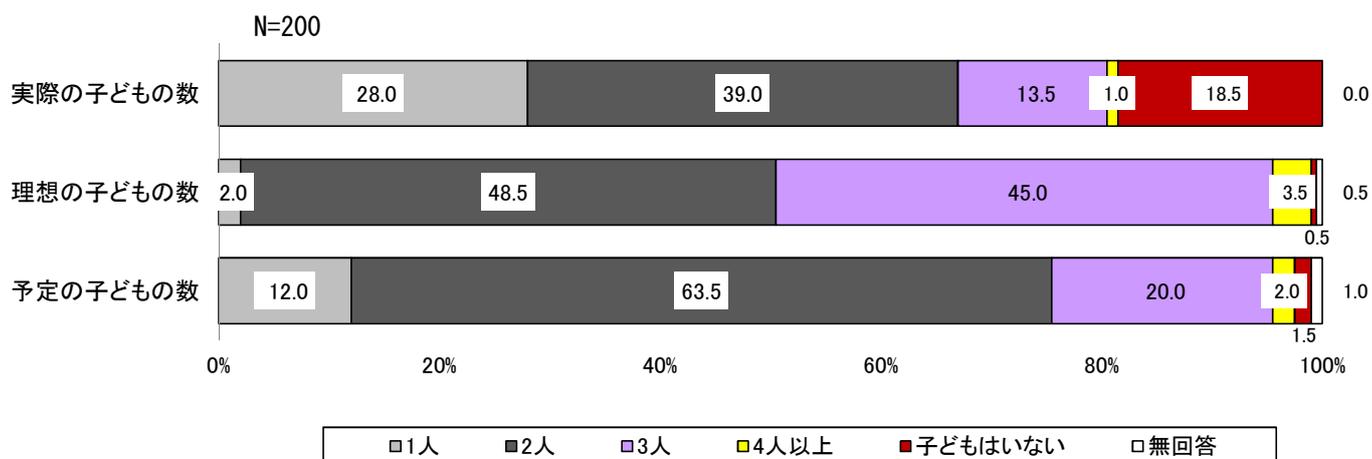
	に仕事と家事や育児との両立に対する支援	結婚や住宅取得に対する経済的な支援	多様な出会いの機会の提供	安定した雇用の確保	のきめ細やかな相談支援体制	進都市部の男女との交流の促進	や結婚促進のための情報提供	の結婚に対するセミナーなど	その他	特に必要ない	
全体 (N=151)	42.4	31.8	24.5	21.9	6.6	5.3	2.0	1.3	3.3	15.2	
性別	男性 (N=80)	28.8	27.5	27.5	21.3	11.3	6.3	-	-	2.5	18.8
	女性 (N=71)	57.7	36.6	21.1	22.5	1.4	4.2	4.2	2.8	4.2	11.3
年齢別	24歳以下 (N= 52)	48.1	30.8	21.2	32.7	5.8	3.8	3.8	1.9	-	11.5
	25歳～29歳(N=43)	41.9	30.2	23.3	16.3	9.3	7.0	-	-	7.0	16.3
	30歳～34歳(N=21)	42.9	42.9	33.3	14.3	-	4.8	4.8	-	4.8	9.5
	35歳以上 (N= 35)	34.3	28.6	25.7	17.1	8.6	5.7	-	2.9	2.9	22.9

4 既婚者の状況

(1) 子どもの数

既婚者 200 人に現在の子どもの数、理想的な子どもの数、実際に持つ予定の子どもの数をきいたところ、現在の子どもの数は「1人」が 28.0%、「2人」が 39.0%、「3人」が 13.5%、「4人以上」が 1.0%、「子どもはいない」が 18.5%となっている。理想の子どもの数は、「2人」と「3人」がそれぞれ約半数となっているが、持つ予定の子どもの数は、「2人」が 63.5%と多く、「3人」は 20.0%となっている。

図表 4-1 子どもの数<単数回答>



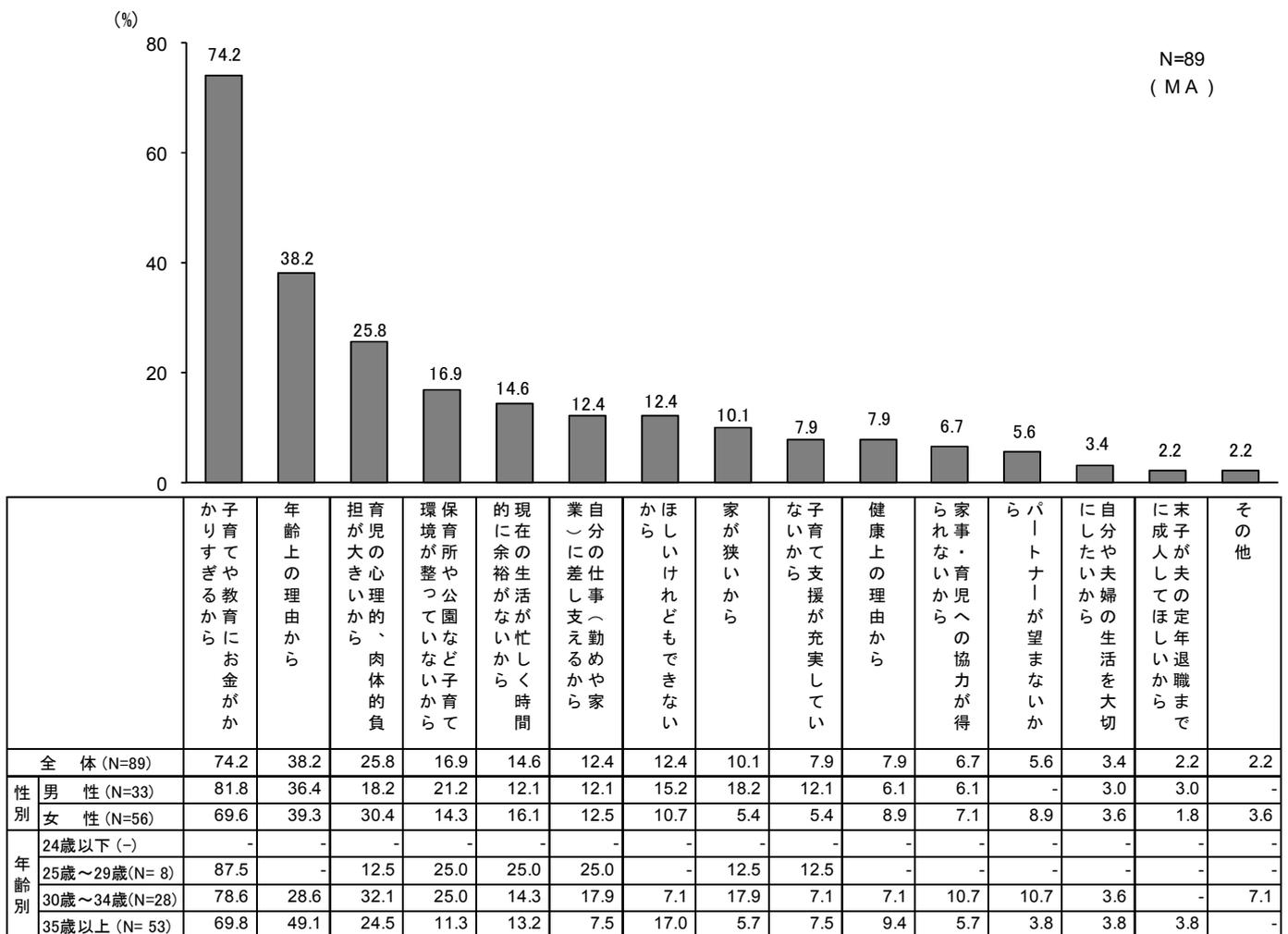
(2) 理想とする子どもの数をもたない理由

持つつもりの子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由についてきいたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が74.2%と際立って多く、次いで「年齢上の理由から」が38.2%、「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」が25.8%の順となっている。

男女別にみると、男性は「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」や「家が狭いから」が女性と比べて多く、女性は「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」が男性と比べて多くなっている。

年代別にみると、「30歳～34歳」は「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」、「35歳以上」は「年齢上の理由から」が他の年代と比べて多くなっている。

図表 4-2 理想とする子どもの数をもたない理由<複数回答>



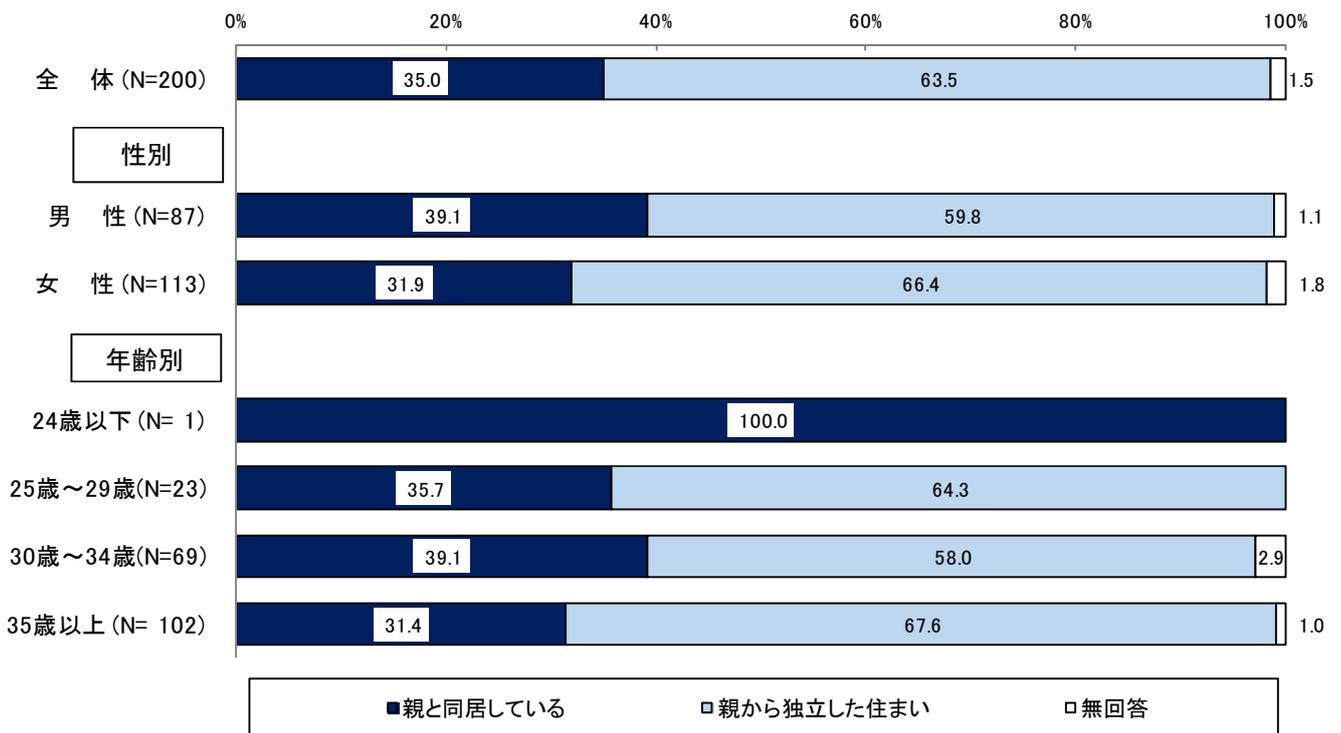
(3) 親との同居の状況

既婚者 200 人の現在の親との同居の状況をきいたところ、「親と同居している」が 35.0%、「親から独立した住まい」が 63.5%となっている。

男女別にみると、男性は「親と同居している」が 39.1%と女性と比べて多くなっている。

年代別にみると、「35 歳以上」で「親から独立した住まい」が 67.6%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 4-3 親との同居の状況<単数回答>

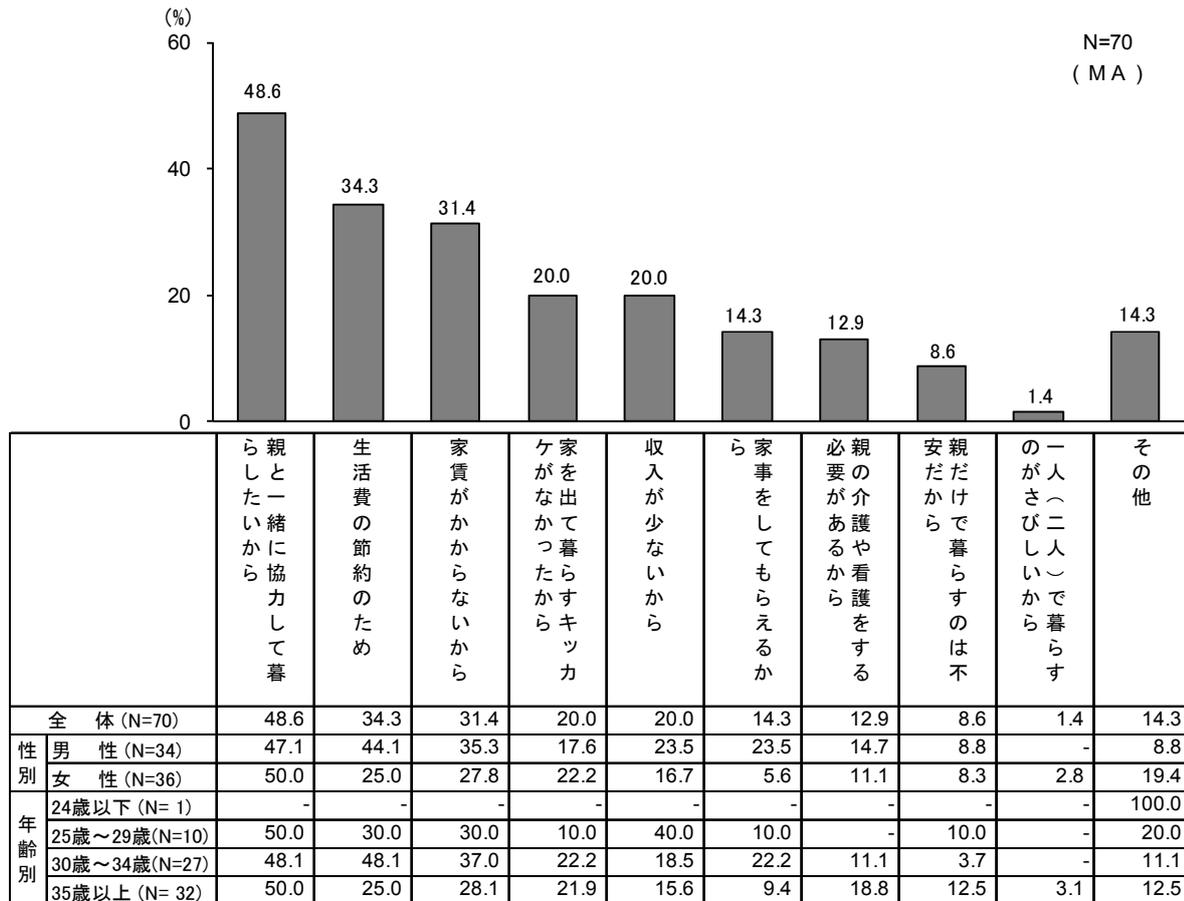


親と同居している理由については、「親と一緒に協力して暮らしたいから」が48.6%と最も多く、「生活費の節約のため」が34.3%、「家賃がかからないから」が31.3%など、経済的な理由も多い。

男女別にみると、男性は「生活費の節約のため」、「家事をしてもらえるから」が女性と比べて多くなっている。

年代別にみると、「25～29歳」は「収入が少ないから」、「30～34歳」は「生活費の節約のため」が他の年代と比べて多くなっている。

図表 4-4 親と同居している理由<複数回答>



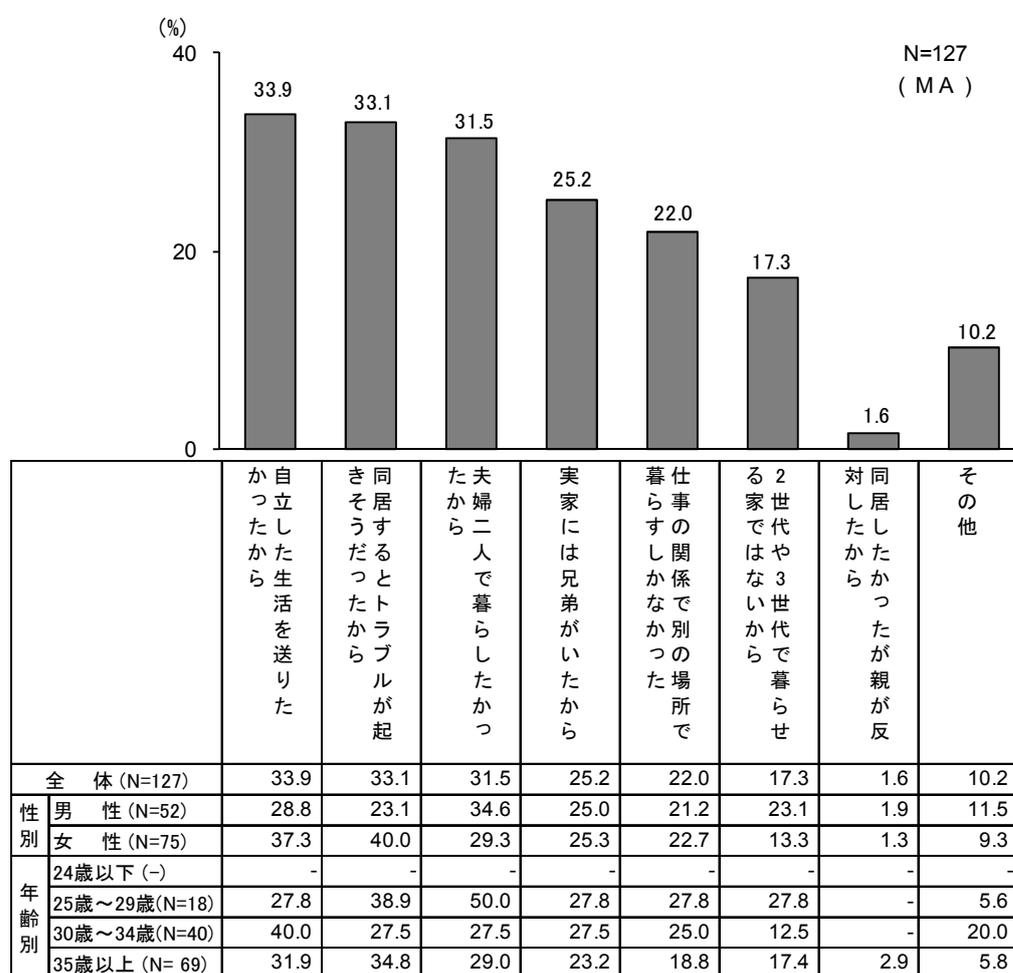
	親と一緒に協力して暮らしたいから	生活費の節約のため	家賃がかからないから	家がなかつたから	収入が少ないから	家事をしてもらえるから	親の介護や看護をする必要があるから	安だから	一人(二人)で暮らすのがさびしいから	その他
全体 (N=70)	48.6	34.3	31.4	20.0	20.0	14.3	12.9	8.6	1.4	14.3
性別										
男性 (N=34)	47.1	44.1	35.3	17.6	23.5	23.5	14.7	8.8	-	8.8
女性 (N=36)	50.0	25.0	27.8	22.2	16.7	5.6	11.1	8.3	2.8	19.4
年齢別										
24歳以下 (N=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
25歳～29歳 (N=10)	50.0	30.0	30.0	10.0	40.0	10.0	-	10.0	-	20.0
30歳～34歳 (N=27)	48.1	48.1	37.0	22.2	18.5	22.2	11.1	3.7	-	11.1
35歳以上 (N=32)	50.0	25.0	28.1	21.9	15.6	9.4	18.8	12.5	3.1	12.5

親と同居していない理由については、「自立した生活を送りたかったから」が33.9%、「同居するとトラブルが起きそうだったから」が33.1%、「夫婦二人で暮らしたかったから」が31.5%などとなっている。

男女別にみると、男性は「夫婦二人で暮らしたかったから」が最も多く、女性は「同居するとトラブルが起きそうだったから」が最も多くなっている。

年代別にみると、「25～29歳」は「夫婦二人で暮らしたかったから」、「30～34歳」は「自立した生活を送りたかったから」、「35歳以上」は「同居するとトラブルが起きそうだったから」がそれぞれ最も多くなっている。

図表 4-5 親と同居していない理由<複数回答>



5 勤務状況

(1) 勤務地

現在の勤務地をきいたところ、「砺波市」が32.9%と最も多く、次いで「高岡市」が15.4%、「南砺市」が13.1%などとなっている。一方、「当面、働かない（働けない）」が5.0%、「現在、就職活動中」が3.0%などとなっている。

男女別にみると、女性は「高岡市」が19.7%、「当面、働かない（働けない）」が9.0%と男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「35歳以上」で「富山市」が14.8%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 5-1 現在の勤務地<単数回答>（単位：％）

	砺波市	小矢部市	南砺市	高岡市	射水市	富山市	その他富 山県内	金沢市	その他石 川県内	富山・石 川以外	当面、働 かない(働 けない)	現在、就 職活動中	無回答
全 体 (N=337)	32.9	5.0	13.1	15.4	3.0	10.4	2.1	2.7	0.9	1.8	5.0	3.0	4.7
性別													
男 性 (N=159)	34.6	5.0	15.1	10.7	4.4	12.6	3.8	3.8	0.6	1.9	0.6	1.9	5.0
女 性 (N=178)	31.5	5.1	11.2	19.7	1.7	8.4	0.6	1.7	1.1	1.7	9.0	3.9	4.5
年齢別													
24歳以下 (N= 35)	28.6	-	22.9	22.9	-	2.9	-	5.7	-	5.7	2.9	5.7	2.9
25歳～29歳(N=71)	35.2	5.6	12.7	15.5	5.6	2.8	2.8	-	2.8	1.4	5.6	4.2	5.6
30歳～34歳(N=89)	30.3	4.5	13.5	15.7	3.4	12.4	4.5	3.4	1.1	1.1	5.6	-	4.5
35歳以上 (N=142)	34.5	6.3	10.6	13.4	2.1	14.8	0.7	2.8	-	1.4	4.9	3.5	4.9

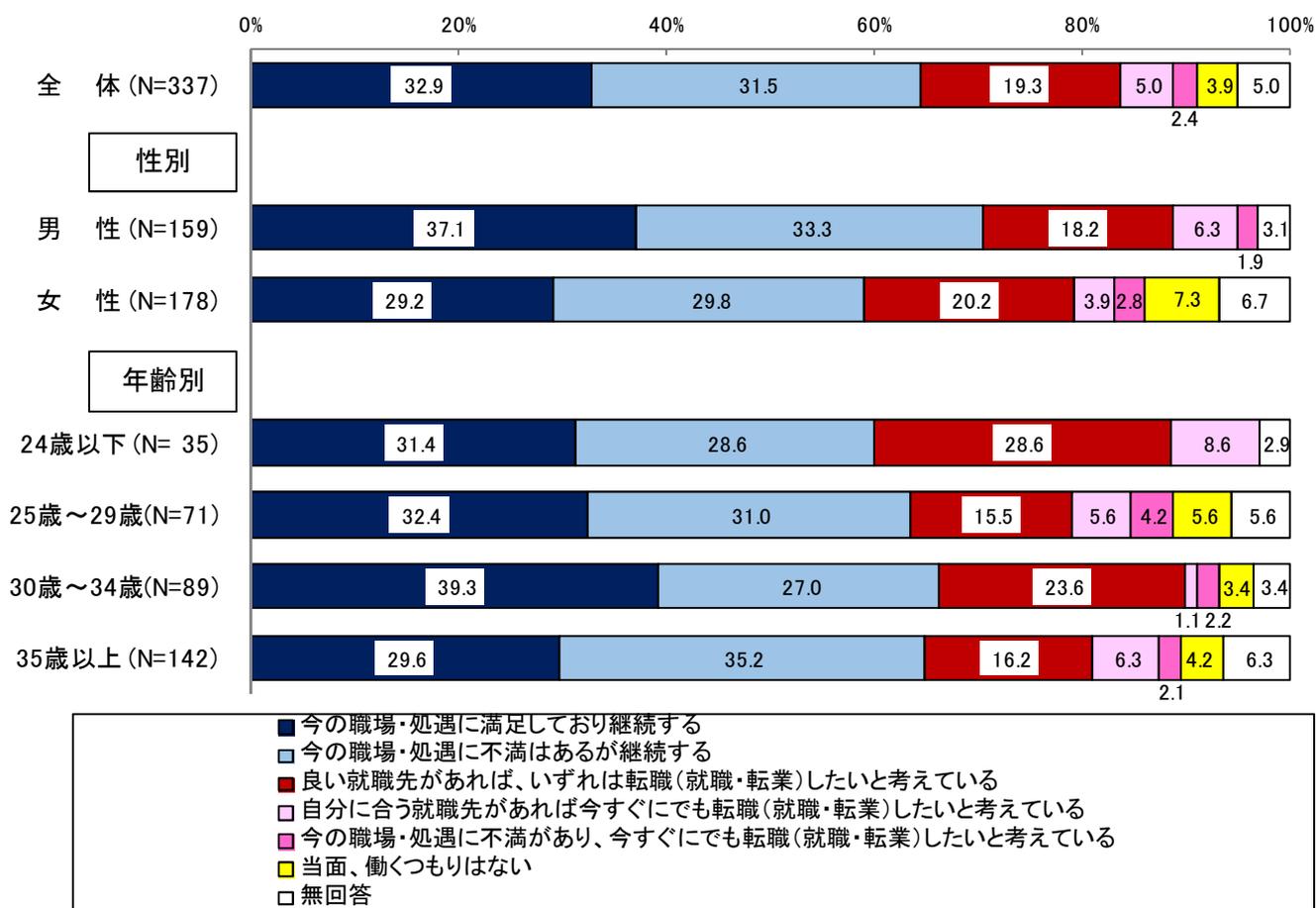
(2) 現在の職業に対する考え

現在の職業に対する考えについてきいたところ、「今の職場・処遇に満足しており継続する」が32.9%、「今の職場・処遇に不満はあるが継続する」が31.5%と、合わせて64.4%が現在の職場を継続したいとしている。一方、「良い就職先があれば、いずれは転職（就職・転業）したいと考えている」が19.3%、「自分に合う就職先があれば今すぐにも転職（就職・転業）したいと考えている」が5.0%、「多少、不満があっても今すぐにも転職（就職・転業）したいと考えている」が2.4%と、合わせて26.7%が転職（就職・転業）を考えている。また、「当面、働くつもりはない」が3.9%となっている。

男女別にみると、男性は現在の職場を継続したい人が約7割と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「24歳以下」で転職（就職・転業）したいと考えている人が37.2%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 5-2 現在の職業に対する考え＜単数回答＞



転職した場合の就業場所についてきいたところ、「自宅の近隣付近」が3.3%、「砺波市内」が13.1%と、砺波市内までが16.4%となっており、「南砺市・小矢部市まで」が17.2%、「高岡市・射水市まで」が27.6%と、合わせて約6割がおよそ30分圏内での就業を希望している。一方、「富山市まで」が19.3%、「金沢市まで」が10.4%などとなっている。

男女別にみると、女性は砺波市内までが23.0%と男性に比べて多くなっている。一方、男性は「金沢市まで」が15.1%と多くなっている。

年代別にみると、「25～29歳」で自宅近隣付近から高岡市・射水市までの概ね30分圏内が69.0%と、他の年代に比べて多くなっている。

図表 5-3 転職した場合の就業場所<単数回答>

		自宅の近隣付近	砺波市内	南砺市・小矢部市まで	高岡市・射水市まで	富山市まで	金沢市まで	県内全域	その他	無回答
全 体 (N=337)		3.3	13.1	17.2	27.6	19.3	10.4	2.1	3.9	3.3
性別	男 性 (N=159)	1.9	6.9	12.6	28.3	24.5	15.1	3.8	4.4	2.5
	女 性 (N=178)	4.5	18.5	21.3	27.0	14.6	6.2	0.6	3.4	3.9
年齢別	24歳以下 (N= 35)	-	11.4	20.0	28.6	20.0	11.4	2.9	2.9	2.9
	25歳～29歳(N=71)	4.2	14.1	18.3	32.4	15.5	11.3	-	2.8	1.4
	30歳～34歳(N=89)	2.2	10.1	22.5	22.5	20.2	11.2	2.2	4.5	4.5
	35歳以上 (N=142)	4.2	14.8	12.7	28.2	20.4	9.2	2.8	4.2	3.5

6 今後のまちづくりに対する意見

今後のまちづくりに対する意見や要望に関する主な自由意見をまとめると、次の通りである。

■子育て支援や教育について

女性	35歳～39歳	保育園にもっと入りやすくしてあげたら良いと思う。働きたくても、子どもを入れてもらえないと仕事を探すこともできない。少子化と言われている割に、産んだ後の世間が冷たいと感じる。
女性	35歳～39歳	同居している親に迷惑をかけまいと、仕事前に保育所に預けたら「祖父母に協力してもらってほしい」と時間外保育をしないように促された。土日仕事の自営業のお母さんは土曜日に預けるたび、「子どもとふれあうために家で見た方が良い」と連絡帳に書かれていたそうです。「子どもを預ける事=子育て拒否」ではないと思います。砺波市の考えがそうなのでしょうか。
男性	35歳～39歳	保育所で遅い時間（20時）まで預かってくれる所をつくってほしい（高岡市はある。病気の時の預かりも）。昨年から埼玉から移住してきましたが、指定ゴミ袋、住居が少ない、都市ガスがない等、これから子どもが生まれますが、子育て環境に不満や不安を感じます。
男性	30歳～34歳	3歳未満の乳児の入れる保育所が少なく、出産後すぐに働くことが難しい。出産直後、3歳未満の兄弟がおり、保育所に入っていたが退所を求められた。実際、このような状態で核家族が育児するのは難しいと考えられます。せめて育児休暇中は入所継続をお願いしたい。一時保育の枠が狭く、受入れが積極的でないように感じます。1日あたりの利用枠の拡大と、1か月あたりの利用日数の拡大を求めます。
女性	25歳～29歳	ハローワーク等では保育園を決めてから就活すべきと言われ、市役所では仕事が決まってからと言われる。このような矛盾を解消してほしい。
女性	30歳～34歳	安心して子育てと仕事が両立できるよう、希望する保育園に子どもがスムーズに入れるようにしてほしい。他市に比べて砺波市は厳しい面があるように感じ、今後とても不安である。
女性	25歳～29歳	育児休暇中で家にいたので、3歳になっていない子どもが保育所を辞めました。せっかく慣れて友達もできたのに、離れてしまうのは親として淋しかったです。
女性	25歳～29歳	仕事で夫婦ともに夜遅くなり、なかなか子どもと関わる時間が持てない。子どもが保育所に通っているが、園の行事にも参加しづらい。園の先生たちもいつも忙しそうにしているし、遅くまで残っているようである。もう少し保護者参加の行事を減らしてはどうか。
女性	30歳～34歳	子どもや子育て世代への支援を引き続きお願いします。未満児を預けているが、クラスの違う先生にも手厚く保育して頂き、感謝しています。子どもが大勢になると、子ども同士や先生方とのコミュニケーションが薄くなると思うので、小さい規模の保育所を継続してほしいです。
女性	35歳～39歳	知人から、子ども（未満児）を保育所に預けて働きたくて探したが、自宅から遠い庄川の保育所しか空いておらず、困っているという話を聞きました。未満児を受け入れる保育所を増やしてほしい。ちょっとした風邪くらいなら、預かってくれるようにもしてほしい。
女性	25歳～29歳	働きたいママの事も考えて、保育所の入所等を考えてほしい。企業によって専業主婦は中途になる事を市は分かっているはずなのに、年に1回の申込時までには就職先が決まっていなければ入所できないのは酷いのではないかと。そういうところも考えてほしい。
女性	25歳～29歳	日曜日、夜間もみてくれる保育施設がほしい。石川県にはあるが、住所が富山県ということで利用できなかった。
男性	30歳～34歳	保育所で2人目が生まれたら1人目の子どもを退所させるようなことが、砺波市では無いようにしていただきたいです。
男性	35歳～39歳	保育所の入所をスムーズにしてもらいたい。以前、入所できなくて困ったことがある。
男性	35歳～39歳	保育所や幼稚園の民営化の動きがありますが、子育て世代としては疑問を感じます。
女性	35歳～39歳	万全な子育て支援体制の確立を望みます。病後児保育。2子出産後の第1子の保育体制（一度保育所に入所したら、産休中でも預かってほしい）。
女性	25歳～29歳	未満児でも入れる保育園をもっとつくってほしい。サラリーマンでも育休退園を無くしてほしい。
女性	30歳～34歳	発達障害児の受入れを容易にした、学校・施設づくりが充実できれば嬉しい。
女性	35歳～39歳	田んぼの関係で仕方ないかもしれないが、道が暗く危ないので、登校させるのが不安。小学校が遠い。バス送迎があれば嬉しい。学童保育を18時30分までにしていただくと、子育て世代は助かる。親も笑顔でいられると思う。映画館があれば活気がでるのではないかと。みんなが笑顔でいられるようなまちづくりを求めます。
女性	30歳～34歳	学童の充実をもっと図ってください。働きたくても思うように働ける状況ではありません。
女性	35歳～39歳	子どもが夏休みや土日に使用できる支援センターがあれば良い。チューリップ公園でイベントがあれば良い。

男性	35歳～39歳	子育てがしやすい環境にしてほしい。例えば、子育て支援センターの開いている時間を、もう少し長くしたり、土・日も通えるようにするなど、開いている時間の検討をお願いしたい。
女性	25歳～29歳	子育てのしやすい職場づくりや金銭面を見直してほしい。パワハラ等に関する相談窓口をつくってほしい。
男性	35歳～39歳	子育てしやすい環境を整える。女性ばかりでなく、男性も子育てに参加しやすくする。
女性	30歳～34歳	親が（子どものために）安心して働ける環境づくり。図書館の充実。
女性	30歳～34歳	核家族で共働き、親（祖父母）の協力も得られない環境にあります。学童は3年生で打ち切り（本当は全学年対象とのことですが、人数が多すぎることと、指導員不足のために実施できていない）、本当に大変です。毎日の送迎も時間に追われ、車を飛ばして迎えに行っています。送迎の問題で、正社員でいたいのにパートになり、金銭面でも大変です。
男性	35歳～39歳	共働きで子育てしやすいまちづくりをお願いします。
女性	25歳～29歳	県外から結婚や仕事の関係で砺波に住んでいますが、若者が楽しく暮らせるような環境が少なく、選択肢が無さ過ぎて非常に住みづらいです。子育てしながら女性が男性と協力して仕事を継続できるような地域ではないため、若者離れが進むのは当然だと感じます。
女性	35歳～39歳	出産後、子どもを預ける環境ではなく、自分の手で育てられる環境づくりが大切だと思います（育児休暇のとれる職場環境、職場体制づくり）。
女性	35歳～39歳	節目検診の案内をもう少し分かりやすく、説明書きを詳細にしてほしい。総合病院の看護師の質の向上を図ってください。現状を見て、目にあまる方は現場から去っていただきたい。
女性	35歳～39歳	子どもを持ちたいと思っても、病気や不妊等で子どもを持ってない女性のための支援をもっとしてほしいです。
男性	30歳～34歳	不妊治療の補助の充実化（体外受精に限らず）。
男性	25歳～29歳	もっと良い公園をつくってもらいたい。冬に子どもを遊ばせる場所がないので、室内が望ましい。
女性	35歳～39歳	子育ての支援や小さな子どもが遊べる場所を、もう少し増やしてほしい。（雨の日に遊ばせてくれる所があると嬉しい）
女性	30歳～34歳	子ども連れで行きやすいお店・施設等を増やしてほしい（公園や室内で遊べる広場）。子どもはほしいが、金銭的余裕がないので助成を増やしてほしい。
男性	25歳～29歳	雨天時でも子どもが遊べる公園等。
女性	30歳～34歳	子どもが（環水公園や太閤山の噴水みたいな）水あそびできる所があれば良いと思う。西部体育館の遊具の所の地面がボコボコで危ない。転倒して捻挫しました。
女性	35歳～39歳	子どもが外遊びできるような、高齢者が買い物やお散歩へ行けるような、安全で安心できる明るいひと・環境づくりを望みます。
男性	35歳～39歳	税金が一般的に高すぎる。子どもに対する補助的なことも、他の市に比べると（不可）時間制限がありすぎる。
男性	30歳～34歳	これからの砺波市の子どもを育てるために、親の負担を少しでもなくすための補助金・受け入れ等に力を入れてください。
男性	30歳～34歳	昨年砺波に居住しました。これから子どもができて、家族で砺波にずっと住んでいきたいと思っているので、子育てがしやすいまちづくりをお願いします（医療費や子育て支援等）。
女性	25歳～29歳	三世同居をすすめているが、県外から嫁に来た人への待遇が良くない（近くに子どもを見てくれる人がいない）。主人の実家が自営業で、主人はそこで働いているが、正社員のように福利厚生（年金・保険）が無いので、多く働いても税金等が多く取られ、生活費がギリギリで、子どもを産む余裕がない。
女性	30歳～34歳	子育て支援が充実していると、もっと若い人が増えると思います。
女性	25歳～29歳	第3子からの待遇をもっと良くしてほしい。制服や体操服等、お金の面が不安なので、フォローしてもらえたら助かる。
男性	30歳～34歳	この先、今以上に少子高齢化を進行させないためにも、子どもを産みやすく、育てやすい市にしてほしい。（自分たちだけでなく、将来の子どもたちの負担が大きくなるように）
女性	35歳～39歳	もっと、小さい子どもから大人まで遊べるような広い公園があれば良いと思う。外で安全で遊ぶことができないから、家でゲームやネットばかりする子が増えてしまって、犯罪に繋がるんだと思う。我が子も、家でゲームばかりしていたら、性格が荒くなるけど、外で元気に遊んでくると、明るく人間らしい顔になる。子育て世代の私が思うのは、自然があれば他に何もいらなないと思います。
女性	35歳～39歳	子育てに優しい環境、経済的支援、医療、福祉、教育、さらに就職して砺波市に住み続けたいと思えるまちを強く希望します。

女性	20歳～24歳	南砺市みたいに、街コン等の出会いの場をつくってほしいです。私は地元を離れる気がないので、砺波市・砺波のまち中の人と出会いたいです。生まれも育ちも砺波。まちの中の出身なので、是非とも宜しくお願いします。
女性	30歳～34歳	育児支援もマナーの度を過ぎる親が悪目立ちしてしまい、見ていて良いものではありませんし、これからの子どもたちにも良くないと思います。 子どもをもつ親に対する講習や親のための親の再教育の場を設けてほしいです。例えば、砺波市役所やアピタ、イオン等の大きな施設の一室を借りて育児相談所を設置し親が気軽に入れる場をつくる等。一室をカフェのようにして子どもを遊ばせながら育児や家庭の相談員と真剣に集中して相談ができる相談場等。金額は、子どもを預かる時間が一時間として相談料込みで千円等、飲み物代金のみ等の子どもを持つ親には嬉しい仕様ですと気軽で良いと思います。 若い世代が集う場所や「思春期の子どもを持つ親を中心に育児子育てについての再教育等」があれば子どもと親の愛情も再構築されていくと思いますし、自然と砺波市が好きになるのではと思います。
女性	35歳～39歳	サービス業（販売職）をしていて思うのは、親と同居している方がかなり減っており、子どものいる方は、平日の早番のみの仕事を希望される（看護の現場でも同様の状況のようです）。2人目妊娠・出産で辞めるので、人出不足。預け先がない、料金が高くなる、遅くまで預かってもらえない、熱・風邪の子を見て預ける場所がないので、対策をしてほしい。一緒に働く人が増えず、辞めていくばかりで、負担が年々増加。仕事中心で夜も遅く、出会いもないまま年をとり、悪循環。イオンやアウトレット等の店ばかり増えており、砺波近郊の人は平日の日勤をパートという働き方を希望される。雪が多く通勤が大変になるので、やりがいよりも環境重視している。転職したくてもハローワークなどの正社員の募集賃金が低すぎる。
女性	30歳～34歳	出町小学校と砺波北部小学校の学区の境目について。
女性	20歳～24歳	新しい道路をつくるよりも、教育施設の立て直し等に予算を充ててほしい。交通の利便性も必要だと思うが、子育て支援を進める上で施設が老朽化しては近寄りがないのではないか。
男性	35歳～39歳	大学を誘致したら良い。
女性	35歳～39歳	娘が小学1年生です。自宅が校下の端なので、毎日45分くらいかけて通学しています。バス通学のある学校がうらやましいです。

■住環境や安全・安心なくらし、公共交通、施設整備について

女性	30歳～34歳	空き家をリーズナブルな値段で色々な人に貸し出してください。借りたい人はたくさんいるのに、情報がまいち市民に届いてないようです。福祉面ではもっとその世帯に目を向けてください。同居しているからと言って、必ずしも安心できる状況ではありません。不正に年金をとる家族もいます。
女性	35歳～39歳	空家の活用（安く貸す、都会等から田舎へ引っ越される方の誘致等）。文化活動の活性化（演劇・コンサート等）
女性	35歳～39歳	古民家を利用して借家にする制度をもっと充実してほしい。
女性	30歳～34歳	旧砺波市の中で、病院、役所、スーパーなど生活に不可欠なものは出町地区に集約されており、それ以外の地区は若い世代と同居しない限り、老後が不安。運転できなくなれば、生活が不安。自分の老後でなく、既に今その問題に直面しており厳しいと感じる。 出町地区に移住したいが、土地や建物の買い手がつかない地区であるため、市が土地買い上げの様なシステム、または出町に移住するための補助金をお願いしたいです。
男性	35歳～39歳	庄東地区にもっと若い人が住めるよう、団地等をつくれれば良い。
女性	35歳～39歳	分譲マンションがもっとあれば住居の選択肢が増えると思います。市外からの転入も増えると思います。行政の管轄では無いのかもしれませんが砺波市は戸建てありきで住みにくいです。
女性	35歳～39歳	駅前商店街や駅周辺の歩道の段差をなくしてほしい。街灯を増やしてほしい（小・中学校付近）
男性	40歳以上	環境・福祉の面で良くなっていると思うが、防災・高齢者対策はもう少しである。
男性	30歳～34歳	高額医療費を支払っている方は、仕事が困難な方が多いと思う。子育て支援ばかりでなく、そちらの方面でも、もう少し支援して頂けると良い。
女性	35歳～39歳	3世代の介護家庭の補助制度を使いたくても施設がいっぱいで、2泊3日はなかなか預かってもらえず、自腹で高岡で見つけてもらったことがある。
男性	30歳～34歳	年齢問わず、障害者も住みやすい市になってほしい。

男性	30歳～34歳	近年急速に発展している地域があり、アパートの路上駐車・ゴミのポイ捨て等が目立ってきている気がするので、警察のパトロールの強化や砺波市へ転入される方への最低限のモラル順守等、徹底させてほしいです。小さなことでも、それらが進むと犯罪等の事件につながると思います。
女性	30歳～34歳	市内在住の外国人（特に中国人）のマナーが悪い。対策求む。
男性	35歳～39歳	交通マナーが悪い人多すぎる。大型禁止の道にトラックが入ってきて困る。一時停止を守らない人が多い。定期的に巡回する大型バスに誰も乗っていないので、もったいない気がする。必要な人もいるので、大型でなく小型にして、バス停まで行けないような足の不自由なお年寄りの家の近くまで巡回したら都合が良いのではないかと。
女性	35歳～39歳	156号線の信号無視が多すぎるので、もっと交通マナーやモラルについて働きかけてほしい。砺波市はひどいと思う。
女性	30歳～34歳	また、砺波市は運転が下手な方々が多くいると思います。カーナビだけを見ながらの蛇行運転。片手にスマホ、携帯を持ったままの片手運転。車の止め方も汚くバックでとめられない人多すぎて危ないです。 50歳や定年を迎えた人を中心に車の再講習を希望します。過去に再講習の意見が出たそうですが、反対意見が多く却下されたようですが、今後取り返しのつかない事故や死人が出てきてからは遅いと思います。試験的に短期間の車の講習を希望します。一日～一週間でのいくつかの時間帯をつくっての講習等が仕事の合間でできて良いのではと思います。※夜中を含む。 子どもが通学する歩道のない田圃道など車の運転が恐ろしく歩かせることが不安に思います。また私自身も携帯を片手に運転する車に轢かれそうになりましたので車の再講習を強く要望致します。75～80歳で免許停止等の処置も良いと思います。その場合は、バス、バス停の充実や電車の時間の見直し、車に乗れないことを助けるための交通券（バス・電車兼用）等を発行するなどの処置があれば良いのではないかと思います。お年寄りのために回覧板やカタログで説明を定期的に補うことも良いと思います。
男性	30歳～34歳	見通しの悪い道が多いため、ミラーの設置をお願いします。
女性	25歳～29歳	道路整備。特に、歩道をつくってほしい。車を運転していて、危ないと思うことが多い。歩行者と車の距離が近く、特に雪が積もった時は危ないと思うことが多い。
女性	20歳～24歳	となみ野大橋の近くの道に外灯が少なすぎて、ウォーキングやランニングしている人が多いのに、危ないと思う。増やしてほしい。柄が入った可愛い婚姻届をつくれれば人気がでると思う。
男性	35歳～39歳	外灯が少ない。
女性	35歳～39歳	町の街灯が少なく、夜歩くのが怖いです。犯罪はないのでしょうか。公園の遊具が少ない。広い芝生（おとぎの森ぐらいの広さ）の上で思いっきり遊びたい。
女性	25歳～29歳	夜間の道路が真っ暗で怖い時があります。
女性	25歳～29歳	暗いので、もっと住宅街に街灯を増やしてほしい。
女性	25歳～29歳	156号線と359号線の除雪をもう少ししっかりやってほしい。 市役所の職員で対応の悪い人がいるので改めてほしい。
男性	20歳～24歳	交通の充実化（公共交通機関）
男性	20歳～24歳	交通を便利にしてほしい。
男性	30歳～34歳	公共交通（鉄道・バス）の利便性の確保・向上（高齢者・子ども・傷病者の移手段）。 娯楽施設の誘致。 価値観の多様化の時勢にあって、より多様な魅力が必要。特に若い世代に対して（パチンコ屋しかないのでは、都会から帰って来ない）。 田舎らしさを残しつつ、日常生活以外の娯楽等にも留意されたい。
女性	20歳～24歳	公共交通機関が発達したら良いと思います。
男性	20歳～24歳	高齢化が進む中で、車に頼らずとも生活できるような街になるよう、公共交通や生活基盤の安定した充実さを求めます。
男性	25歳～29歳	早期の道路工事及び迂回路の充実。
男性	35歳～39歳	富山市や金沢市等、遠方への交通が不便です。
女性	30歳～34歳	砺波市に限らず車で生活が中心になると自分だけの給料で車の維持費が賅えきれないので砺波市に帰ってこない若者が多いのだと思います。他県や都心は車に乗らずともバスや電車の時間も整備され職場に通勤しやすく自分で運転せずともよく、よほどの事でない限り天候にも左右されません。会社への通勤の不便も一つの原因なのではと思います。

男性	40歳以上	通勤・通学・通院等の交通網の整備。
女性	35歳～39歳	砺波駅以外に駅に駐車スペースがない(自転車、バイクのみ)。新幹線の新高岡駅も駐車一杯で城端線が使いにくい。
女性	25歳～29歳	東京から戻ってきて感じるのは「一人で過ごせる場所の少なさ」。どこへ行っても家族連れや友人同士ばかりで、一人で気ままにふらっと立ち寄れる所が少ないと感じる。その中でも砺波図書館はとて過ごしやすい場所なので、移転しても、この雰囲気を保ってほしいと思う。
女性	35歳～39歳	図書館の学習スペースが小さすぎる。社会人でも利用しやすいように学習できる場をつくってほしい。図書館へは自動車だと駐車場の確保等、考えなければならないので、チューリップ四季彩館や美術館のあたりに創設してほしい。
男性	30歳～34歳	新しい図書館ができるニュースを新聞で読んだが、本が充実しているだけでなく、カフェエリア等を設置して、本を読みながらゆっくりくつろげるスペースがあれば、利用しやすくなると思う。また、色々な用途で利用する人がいると思うので、用途に合わせたスペースを別々に区切ってつくってもらえれば良いと思う。(例えば、図書エリア、カフェエリア、自習エリア等)
男性	35歳～39歳	図書館を整備してほしい。
女性	25歳～29歳	憩いの場として大きな公園があると良い。小矢部市のように市内で家を建てた場合の補助金があると良い。
男性	30歳～34歳	遊べる公園が増えてほしい。
男性	25歳～29歳	チューリップ公園にスターボックスの設置(目指せ環水公園)。チューリップ公園はポテンシャルがあると思う。
女性	25歳～29歳	公園の遊具の充実や安全点検などを強化してほしいです。

■雇用や企業誘致、商業・娯楽施設等の誘致、にぎわいの創出、観光・PRの促進など

女性	19歳以下	県外で寮生活しています。できるなら、砺波市で働き、生活したい。
女性	20歳～24歳	特に若者の就職・雇用
男性	35歳～39歳	ショッピングセンター等が数多くあり生活は不自由ではない。しかし、大・中規模の企業が少ないため、若者の就職先がない(一定規模の企業に就職したいと思う)。企業誘致が必要
女性	30歳～34歳	スーパー等は増えているが、勤め先は少ないように思う。企業等も増えた方が良いのではないかなと思う。
男性	25歳～29歳	もっと企業を誘致して、雇用先を増やせば良い。しかし、あまり都市開発しすぎても、かえって住みづらくなる(空気汚染、治安の悪化等)ので、バランスが重要だと思う。
男性	20歳～24歳	もっと魅力的な就職先や会社を増やしてほしい。
男性	25歳～29歳	散居村の風景を全力で残す。機械が高く購入しづらいことも、農業離れにつながっている。水田の保存、後継者支援、相続に関するセミナーや稲作に関するセミナーを開催し、農協以外で相談できるネットワークをつくる。大学生等による田植えなど。
女性	35歳～39歳	若者の起業等に対する手厚い支援。各種の学びの場の提供(資格取得できればなお良し)。福祉の充実。
女性	35歳～39歳	大型産業企業の誘致(サービス業、接客業の需要については、呉東地区に比べて安定した求人の増加傾向がみられるため)。接客業種のみならず、生産系・技術系の企業を増やしてほしい。各企業賃金の底上げ(物価の上昇に追いついていない)。市外に比べても低賃金。
男性	20歳～24歳	映画館等の遊ぶ所をもっとつくれば良い。GUをイオンの近くにつくってほしい。バッティングセンターをつくってほしい。
女性	35歳～39歳	娯楽施設を充実してほしい。24時間営業のスーパー銭湯があったら良い。防犯体制はしっかりと。
女性	25歳～29歳	若い人向けの娯楽施設があれば良いと思う。
女性	35歳～39歳	砺波市にも映画館があれば良い。新鮮な野菜や果物を扱う地場産の店を増やしてほしい(ジャム作り体験等、体験会等の催し物を開くと楽しいと思う)。
男性	25歳～29歳	もう少し娯楽施設(スーパー銭湯やボーリング場など)があれば若い人たちにとっては嬉しいかと思いますが、いかんせん大きな需要も見込めないのが難しいものではないでしょうか。
女性	20歳～24歳	ラウンド1のような、遊べる所が欲しい。
男性	30歳～34歳	娯楽施設

女性	30歳～34歳	娯楽施設があると良い（家族で楽しめる場所）。
男性	30歳～34歳	娯楽施設等、休日楽しめる施設を今後増やしていけば、県外へ離れていく人は少なくなると思います。
女性	30歳～34歳	保育園、小学校の近くに居酒屋やパチンコ店が多くせつかくの観光地の価値が下がっている。パチンコ店のCMが多すぎて不快。パチンコ店以外の違う娯楽施設を各会社や小学校に無記名のアンケート等をだし集計を取って増やしてほしい。 小学校高学年から大学に行くまでの友達同士で遊びに行けるたまり場、遊び場が少なすぎます。また、アルバイトも社会に出て就職をするためによい失敗を経験する良い場所と機会なので砺波市が率先して学生が学校に行きながら社会性を学びお金を稼ぐありがたさ大変さ嬉しさを学べるようにアルバイトしても問題ない環境をつくってほしい。 三世同居等をしてしまうと、孫にお小遣いをあげてしまう老人が子どもの働く気を無くさせてしまい働かないニートが多く居ます。どんな環境でも働くことの大切さ、人と暮らす大切さを子どもに学ばせる環境をつくる砺波になってほしいと思います。
女性	30歳～34歳	現在、砺波イオンがオープン控え、大きな賑わいが見込めるが、駅周辺の商店街の活性化がないので、昔のような賑わいを取り戻せたら良いと思う。
男性	30歳～34歳	プレミアムクーポン券を小矢部市のように並ばずに買えるようにしてほしい。老人や子連れに不親切な購入方法であり、不満。
男性	35歳～39歳	旧市街地（アーケード街）の活性化。飲み屋が増えているが、このままだと夜の街になってしまう気がする。駐車場整備も含め、周辺商業施設からの誘引や、ビジョンを持った都市整備構想が必要ではないか。
女性	30歳～34歳	砺波市の商店街がガラガラしていてさびしい。駅が近いので飲み屋も多いですが、学校も近いので商店街には居酒屋ではなく、文房具店や学校で使う消耗品等を扱うお店や、学生や子連れが気軽に入れるパン屋、カフェ、惣菜専門店等を入れてほしい。
男性	40歳以上	歩いて買物できる店がほしい。
男性	25歳～29歳	街は若者一人歩いていない。大型店ばかり誘致して街に個性がない。チューリップフェアでは大物を呼ぶべき。キラキラミッションは中途半端で、他から来た人はがっかりしている。
男性	35歳～39歳	人が歩いている市街地にしてほしい。
男性	35歳～39歳	人も良く、過ごしやすいところだが、夜高まつり等の行事は活気があるが、普段の生活において活気があまりない。商店街も人がほとんどいないし、シャッターが閉まっていて、市とは思えないほど寂しすぎる。
女性	35歳～39歳	砺波市の中心街（南町商店街あたり）が盛り上がりしてほしいです。イオンモールとなみができて、ますます盛り下がりそうで心配です。気軽にコーヒーを飲みながらお喋りができるカフェがあったら良いと思います。
女性	35歳～39歳	人が集まれるようなテーマパークがあれば良いと思う。チューリップフェアのみで人を集めるには、限界があると思います。
男性	35歳～39歳	市外から来た人（新たに引っ越して家を建てた人）もイベント等を通して地元で溶け込めるようにする。市をアピールする食べ物の開発（砺波〇〇ラーメン等）三世代が交流できるイベントの企画等により、市民がふれあう機会を企画する。地域のイベントが他の市町村より少ない。
女性	35歳～39歳	チューリップ公園を1年中人が行ける魅力を出し、砺波でお金を使ってもらいたい。冬のイルミネーションはきれいなのに中途半端なので、もっとインパクトがほしい。
女性	40歳以上	チューリップフェアだけでなく、皆が来たくくなるような観光施設・観光イベントがあれば良い。だんだんイベントもマンネリ化しているように思う。その他は、道路も整備されているし、病院やショッピング等の環境も良く、大変住みやすくて良い市です。
男性	35歳～39歳	チューリップフェアや夜高祭の他、もう一つ・二つイベントがあれば、砺波市はより一層良い所になると思います。
女性	35歳～39歳	チューリップフェアが開催されても近くに遊園地や、ここでしかない土産物や服飾が足りないと思います。チューリップ公園内で、ガタガタの道や花壇が酷い所があり、ベビーカーや車椅子で移動しづらい所が多々あるのが不愉快で仕方ありません。しかも、「フェアが終われば観光が終わり」では悲しすぎです。何か催し物を。
男性	25歳～29歳	散居村マラソンだけでなく、例えばグランフوند富山等、市内を通るスポーツイベントにも何かしてほしい。

女性	25歳～29歳	自然や環境を利用したイベント等があれば参加したい。砺波市に限らず、土日に遊ぶ場所がなくて困っている。土日のイベントがあれば行ってみたい。
女性	30歳～34歳	イベント各種の宣伝、広報や市政の情報や市内の店舗みどころなどの情報のSNSの活用を望みます。仕事をしていると、情報得ることが、難しい。
男性	35歳～39歳	もっと砺波市の魅力を他県に発信し、盛り上げてほしい。小さい子どもを安心して遊べる施設が少ないので、増やしてほしい。
女性	30歳～34歳	以前富山市に住んでいましたが、砺波チューリップ公園のイメージが強く、その時しか来る時がありませんでした。住んでみると、環境も食べ物も、こんなに良い所だったのかと感じています。私のように砺波市の良さを実は良く知らない人も多いのではないかと（同じ県の人でも）と思います。イオンやアウトレットのオープンで、自然と注目される中、もっと30代に「砺波はそんなに遠くない」事をアピールしたら良いと思います。
女性	25歳～29歳	市外、県外の人にも楽しめる観光地があると良い。緑の中でゆっくりできるような施設があると良い。

■地域コミュニティや地域活動、地域格差などについて

女性	35歳～39歳	市街地では大型のショッピングモールや道路整備がとても発展していて、砺波市としての知名度や観光客の呼び込みには良いと思うが、少し離れた地区はとても大変な目に合っていると思う。人の減少（特に子ども）と高齢化、交通の不便さ等、地域内で頑張るにも限界がある。もっと過疎化した地域にも、市は目を向けるべきだと思う。住みたい人がいても、不便で出て行く。対応が遅いので、考えてほしい。
女性	25歳～29歳	保健師をもっと人の気持ちの分かる人にしてほしい。イベントをもっと減らしてほしい。やりたい人だけやっていけば良い。強制するのはやめてほしい。仕事の都合のある人もたくさんいる。田舎のしがらみを除いてほしい。夜高にくるっている人が多すぎる。
女性	30歳～34歳	皆で街を盛り上げようと頑張っているのは素晴らしいが、今の若い世代は核家族化や共働きが進む中で育児もして、余裕がないと思う。そこに地域活性化のために昔からのしきたり、地域との関わりを強要され（消防団、獅子舞、その他）、家族との時間もどんどん減る。反発する（参加しない）と村八分ようになる。時代に合った暮らし方を考えるのも大切なのではないか。
男性	25歳～29歳	子どもが少なくなっているのに伝統だからと言って行事を町単位でやらせないでほしい。見苦しいし、協力したくもない。
男性	25歳～29歳	伝統芸能の保存支援（獅子舞、夜高等）。砺波正倉のHPを見ると、富山に戻りたくなる。
男性	35歳～39歳	地域のまつりや行事参加のための情報提供・啓発。
女性	30歳～34歳	中心部と川より向こうの地区の差が激しい気がする。保育園を増やしてほしい。もう少し近くに病院やスーパーがあれば良い。
男性	30歳～34歳	通信環境の格差を無くしてほしい。住環境の整備として、高速回線は今では当たり前なので。
男性	30歳～34歳	情報社会なのに山間部は光回線が引いてなくて不便。地域に支援してほしい。

■まちづくりの方向性について

男性	35歳～39歳	老若男女が本当に住みたいと思えるまち、活気のあるまち、子どもが住みやすいまち、子育てしやすいまち（子育て中の親としては、まだまだもっとと感じます。よろしく願います。）医療・教育に対する支援充実。
男性	30歳～34歳	どのようなまちづくりを目指しているのか分からない。砺波に生活していても楽しくない。
男性	35歳～39歳	家族で住むには良い町です。
女性	20歳～24歳	近頃の砺波市はショッピングモールができたり、とても活気に満ち溢れていると思います。全国での住みやすいまち、TOP10に入ったりと注目され、砺波市を誇らしく思います。若い子たちが支えていかなければと思っています。
女性	35歳～39歳	子どもから高齢者まで安心して過ごせる市であれば良いと考えています。
男性	35歳～39歳	結婚できない人や子どもを持たない人にとっては息苦しくなる地域だと思う。どんな人も老後まで心身ともに安らいで暮らせる環境になれば良いと思う。
男性	35歳～39歳	若い方が、定住したいと思える市であってほしいです。全国的にも有名になるくらい、何かに特化した市であってほしいです。

男性	35歳～39歳	住み良いと思います。
女性	20歳～24歳	誰もが安心して暮らせるまちづくり（子育て・仕事等）を進めてほしいです。
男性	20歳～24歳	砺波には発展してほしいが、大切な田や自然を守ってほしい。
男性	35歳～39歳	砺波は保守的ではないですか。
男性	20歳～24歳	砺波市に定着する人を増やすには、今以上に様々な支援や取り組みが必要だと思う。
女性	20歳～24歳	砺波市はとても住み良く、良い市だと思う。住み良い場所として転入してこられる方が多く、ほのぼのとした雰囲気でなくなることに不安があります。
女性	35歳～39歳	日常生活に不便は感じません（イオンをはじめ、色々な店ができたから）。今のままで十分住みやすいと思います。子育てにも優しい市だと思います（子どもの医療費助成等）。
男性	40歳以上	若い人がもっと働けること、子育てしやすい環境、スローライフができるまちづくり。

■行政に対する要望等について

男性	25歳～29歳	財政の健全化（人件費の圧縮）。
男性	25歳～29歳	市政に対する結果がとてもわかりにくいです。
女性	35歳～39歳	市役所のムードが暗くて、用事をするために行くのが苦手。もう少し明るく対応してもらえると良い。
男性	25歳～29歳	市役所の職員が無駄に多い。ダラダラ仕事をしていて、市役所そのものが活気がない。
男性	35歳～39歳	人件費削減。議員数削減。
男性	30歳～34歳	公共施設を整えるべき。
女性	35歳～39歳	税金が高いわりに、福祉・教育が他の市より遅れているように感じる。田舎だからか、新しい考え方が受け入れられない。若い人の考えを取り入れない。
男性	30歳～34歳	税金を安く、道路を広くキレイに、宿泊を安く。
男性	25歳～29歳	昔とは違い、市民の生活圏や活動範囲は、市内・県内から、日本全国・国外にまで広がっています。砺波市として、市内の発展だけを目指すのではなく、近隣市との協力・連携を深めて広域で発展していくことを目指せば、ゆくゆくは砺波市の利益につながり、砺波市民の生活が豊かになるのではないかと考えます。
女性	30歳～34歳	富山県の市町村の中でも砺波市は税・公益費等が高い方の市に思える。例えば、病院の診察では初診時に紹介料等のお金をとるが、体制のために必要と考えられるのも分かるが、高岡には無い。 →国の医療施策として、紹介状なしで200床以上の病院を受診した場合、初診料とは別に初診時選定療養費を取ることが制度化されているものであり、高岡市においても200床以上の病院では同様の対応となっています。
女性	30歳～34歳	DVを防止する取り組みの充実
男性	25歳～29歳	南砺市長以上の情熱を持った市政運営（最近、南砺市が魅力的に感じる）。上手にメディアを活用する。
男性	25歳～29歳	補助金
男性	20歳～24歳	電車での忘れ物の窓口をやってほしい